

2021 年度 事業報告書

(2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日まで)



目次

理事長挨拶	1
I. 法人概要	
1. 学校法人の沿革	4
2. 大学の理念	8
3. 大学運営組織図	10
4. 役員・評議員の概要	11
5. 設置する学部学科・研究科の名称及び 入学定員・入学者数・収容学生数・専任者数	13
II. 事業の概要	
1. 第五次中期計画の重点課題と基本課題を中心とする主要事業	14
2. 地域貢献事業	23
3. 学生活動の実績	30
4. 学事報告	33
III. 事業の概要（データ）	
1. 志願者数・合格者数・入学手続者数	37
2. 入学金、授業料等の費用	37
3. 学内奨学金支給実績	38
4. 単位互換協力校との派遣・受入状況、留学生の受入状況	39
5. 主な資格取得状況	39
6. 就職率	40
7. 卒業生数・修了者数	40
8. 卒業生数累計	40
IV. 財務の概要	
1. 資金収支計算書	41
2. 事業活動収支計算書	42
3. 貸借対照表	43
4. 経年比較表 ①資金収支計算書 ②事業活動収支計算書 ③貸借対照表	45
5. 主要な財務比率	49
6. 事業活動収支関連グラフ	50

理事長挨拶



学校法人 沖縄大学
理事長 佐喜眞實

2021年度の事業報告にあたりご挨拶を申し上げます。

平素は関係省庁をはじめ関係者の皆様方には、多くの御指導、御協力、御支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本学は沖縄大学憲章に基づく長期ビジョン Okidai Vision 2028「地域がキャンパス、地域のキャンパス」の実現に向けた第五次中期計画（5年間の中期計画）を策定し、自己点検・評価活動に基づく質保証を推進しております。本年度も新型コロナ禍により、各学科・各部署の事業を計画通りに進められない状況もありましたが、理念達成のための事業計画を「重点課題」、大学としての基盤を堅実に維持するための事業計画を「基本課題」と位置づけ、今やるべきことに目を向けた教育活動や業務を行ってまいりました。

将来像を実現する第五次中期計画の3年目にあたる「2021年度事業報告書」がまとまりましたので、以下概況を御報告致します。

（1）収支財政状況

2021年度事業活動収入の合計は2,664百万円（前年比124百万円増、予算比67百万円減）、事業活動支出は2,619百万円（前年比12百万円増、予算比125百万円減）となりました。

基本金組入前当年度収支差額はプラス45百万円となり、本業である教育活動収支差額は、プラス67百万円でした。

収入においては、全体として学生募集が堅調に推移していることや、2019年度に開設した健康栄養学部の学年進行による学生増もあり、学生生徒納付金収入は前年比65百万円増となりました。支出では、新型コロナ禍の影響により、教育研究活動を縮小せざるを得なかったことによる支出減があった一方、例年より退職者が多かったことによる人件費の支出増があり、教育活動支出全体としては前年比7百万円増となりました。

今年度の事業活動収支差額比率は、プラス1.7%です。同比率の推移を見ますと、2017年度はプラス4.7%（借地権除却の特殊要因除く）、18年度はプラス11.8%と黒字を確保しておりましたが、健康栄養学部を開設した19年度（1年目）はマイナス5.2%、20年度（2年目）はマイナス2.6%と赤字に転じました。これは、支出（人件費増：初年度で大多数を採用）と収入（学納金：1学年ずつしか増えない）のアンバランスによるものですが、開設3年目の今年度には設置当初の見込みどおり黒字を確保することができました。今後は教育活動での安定的な収入確保によりプラス10%以上を回復・維持できるよう、中期計画の基本課題を意識した取り組みによる入学者の安定確保や退学率の削減、経費の見直し等を行い、教育環境の維持改善に努めてまいります。

（2）「法務監査室」の設置

2020年4月に施行された改正私立学校法により、学校法人のガバナンス強化が求められてい

ます。これに対応するため、本学では2021年4月に、法務及び監査機能の運営・支援を担う「法務監査室」を設置しました。内部監査の統括や、監事監査及び会計監査人監査の支援の他、ガバナンス・コードの策定及び取組状況の点検評価を実施し、内部統制の質の向上を図るとともに、法人経営・大学運営の基盤強化を進めてまいります。

（3）沖縄県教員採用試験合格者 過去最多の52名

令和3年度（2021年度）沖縄県教員候補者選考試験実施状況によると、志願者数3,190名、最終合格者数388名で倍率は8.2倍となっており、沖縄県の教員採用試験の競争率は他の都道府県と比較しても高い水準にあります。本学では、現役学生16名、過卒学生36名、合計52名（前年比プラス14名）が難関を突破して合格を勝ち取り、現役生と過卒生を合わせると過去最多の人数となりました。新型コロナ禍の影響で緊急事態宣言が長期化し、教育実習期間と教員採用試験の日程が重なるという厳しい状況下で受験した学生もいましたが、これまでの学びの成果を発揮し、頑張ってくれました。合格者による教員採用試験合格者体験報告会も実施され、次年度受験する後輩たちに向けてエールが送られました。

（4）学生たちの活躍

2021年度は体育会の学生たちの活躍が目覚ましいものがありました。硬式野球部は九州地区大学野球選手権南部九州ブロック大会で優勝を果たし、悲願の全国大会初出場を成し遂げました。男子バスケットボール部は九州大学リーグ戦2部で優勝して現在のリーグ制で沖縄県勢初の1部昇格を決め、陸上競技部も九州大会で2位、3位の上位入賞を果たしています。結成からわずか3年の水球部も九州大会初出場で見事3位に入賞しました。

野球部の全国大会初出場の反響は大きく、野球部OBをはじめ、OBの在職企業など県内外の企業からもたくさんの支援金をいただきました。0-1で惜敗し、初戦突破とはなりませんでしたが、皆様に応援いただき、多大なご厚意を賜りましたこと、改めて御礼申し上げます。

文化系サークル等の活動においても、吹奏学部が沖縄県アンサンブルコンテスト（管楽三重奏）で見事金賞を受賞しました。コロナの影響により練習時間もコンテスト前のわずか3週間という制約の中、成果を出してくれました。「学生団体あ〜ま〜る」は「学生による学生のための食品・生活情報提供プロジェクト」をイオン琉球株式会社、沖縄県労働金庫、那覇市社会福祉協議会、豊見城市社会福祉協議会、なは市民活動支援センター等の協力の下で企画開催し、新型コロナで生活に影響を受けた学生に食品や日用品等の「学生応援セット」を提供しました。管理栄養学科の「子ども食堂サポートチーム」は「子ども食堂お助けメニュー」を開発し、調理方法を動画にして見てもらうなど、子どもたちが食を楽しみ、食の自立を育む取り組みを実施しました。また、福祉文化学科の学生が発起人となり、うるま市社会福祉協議会の協力の下、学内の主要トイレに生理グッズを設置し、「生理の貧困」について知ってもらう活動を実施したり、コロナ禍で開催できていないミニデイサービスの利用者に元気を届けようと、一人暮らしのお年寄りに年賀状を贈るなど、意欲的な取り組みが見られました。

大学としても、部活動など様々な学生の課外活動を支援してまいります。学生たちの今後の活躍にご期待ください。

(5) 連携協定の締結

沖縄県下で唯一「中級障がい者スポーツ指導員」資格が取得できる福祉文化学科健康スポーツ福祉専攻では、2020年度より沖縄県障がい者スポーツ協会との連携を深め、障がい者スポーツ指導員養成カリキュラムの強化を進めてきました。その結果、障がい者スポーツ指導員の資格取得者が増加し、障がい者スポーツ関連イベントでの学生ボランティア活動が評価されるなど、好循環が生まれています。このような中、さらなる連携強化と学生の学習機会の充実を進める観点から、沖縄県障がい者スポーツ協会と包括連携協定を締結する運びとなりました。包括的な連携の下、協働で事業を推進し、障がい者スポーツに関わる人材育成・交流や調査研究で得られた成果を地域社会に還元・寄与していきたいと考えております。

また、盛口満前学長の母校でもある千葉県立安房高等学校と本学の連携教育に関する協定を締結しました。新型コロナ禍の影響によりリモート学習が取り入れられる中、これまで千葉県内の大学の協力を得て実施してきた連携事業について、地理的な壁を越えて学びの場を開拓できるのではないかとの発想から、今回協定の締結となりました。コロナ禍を逆手に取った千葉と沖縄をつなぐ交流により、新たな価値が生まれることを期待しております。

(6) アネックス共創館 3階・4階 整備完成

アネックス共創館 3階、4階の改修工事が完了し、整備完成セレモニーを開催することができました。3階にはトレーニングルームや運動系サークル部室、4階には体育の授業や卓球、ダンス等の練習が可能なホールを整備し、これをもってアネックス共創館 1階から4階のすべてのフロアの改修工事を終えることとなります。部室を整備したことで、併設するグラウンドでの練習も行いやすい環境を整備することができました。

(7) 学修支援室の立ち上げ

中途退学の防止対策として、学修支援室を立ち上げました。学修支援の活動が日常的に行われ、学生からの履修相談が増えたことで効果が出てきています。今後は、各学科との連携を強化し、情報の共有を行うことで中途退学者を減らす取り組みをさらに充実させていきます。

収束の兆しが見えない新型コロナウイルスの拡大は、大学の教育に大きな影響を与え、コロナ禍の社会変化を大学教育の発展の契機と捉えた新たな視点が求められています。

コロナ禍にあっても、教育の質を維持・向上させる工夫を続け、「地域がキャンパス、地域のキャンパス」の長期ビジョンの達成を目指した PDCA サイクルを回していくことで、学生の夢創造・夢実現につなげていきます。

学生・保護者、社会の期待に応えられるよう役職員一体となって歩みを進めてまいりますので、今後とも引き続き関係各位の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

* 文中の金額は単位未満切り捨てで表示

I. 法人概要

1. 学校法人の沿革

- 1956年 11月 財団法人 嘉数学園設立認可
- 1958年 6月 沖縄短期大学開学式
- 1960年 12月 学園本館、図書館竣工
- 1961年 2月 沖縄大学設置認可、沖縄短期大学は沖縄短期大学部へ変更
4月 沖縄大学入学式
5月 沖縄大学開学祝賀式典
- 1962年 2月 嘉数学園創立5周年記念式典
4月 大学ビル竣工
- 1964年 9月 学生会館竣工
- 1966年 11月 西原総合グラウンド完成
- 1968年 11月 沖縄大学創立10周年記念式典
- 1972年 10月 全国大学準硬式野球大会優勝
- 1974年 12月 公開講座開始
- 1976年 1月 土曜教養講座開始
2月 移動市民大学開始（宮古・八重山）
- 1978年 4月 「地域に根ざし、地域に学び、地域と共に生きる、開かれた大学」の理念を打ち出し、新生沖縄大学として再出発
- 1979年 2月 入試制度改革
4月 本土派遣学生制度発足（立命館大学、上智大学）
4月 「沖縄大学広報」創刊号発行
- 1981年 4月 本土派遣学生制度（法政大学）
4月 4ヵ年一貫ゼミナール体制の確立
6月 沖縄大学創立20周年及び沖縄短期大学23周年記念祝賀会
7月 創立20周年記念事業「教育実践セミナー」開催
- 1982年 9月 琉球弧縦断移動市民大学開始
- 1983年 7月 「沖縄戦と基地問題を考える沖縄セミナー」開始（1990年度まで実施）
- 1984年 11月 第100回土曜教養講座
- 1985年 2月 1号館竣工
2月 津田塾大学と単位互換協定締結
- 1988年 4月 沖縄短期大学を沖縄大学短期大学部に名称変更
6月 沖縄大学創立30周年記念式典同記念事業「沖大地域研究所の設立」及び「沖大後援会奨学金及び特別奨学金制度の創設」
- 1989年 11月 2号館・図書館棟竣工
11月 体育館移管
- 1990年 3月 札幌大学と単位互換協定締結

- 1991年 3月 旭川大学と単位互換協定を締結
- 3月 和光大学と単位互換協定を締結
- 4月 中国・中央民族大学と学術・教育交流協定を締結
- 5月 沖縄大学と沖縄尚学高校を経営する法人の分離
- 6月 第200回土曜教養講座
- 7月 「沖縄大学広報」50号発行
- 1992年 12月 京都精華大学と単位互換協定を締結
- 1996年 12月 法経学部法経学科設置認可
- 1997年 1月 放送大学と単位互換協定を締結
- 1997年 4月 法経学部法経学科の開設
- 1998年 12月 人文学部国際コミュニケーション学科・福祉文化学科設置認可
- 1999年 3月 3号館竣工
- 4月 人文学部国際コミュニケーション学科・福祉文化学科の開設
- 8月 岐阜経済大学と単位互換協定を締結
- 10月 沖縄大学マルチメディア教育研究センター設立
- 2000年 4月 シスコ・ネットワークング・アカデミー開講
- 7月 台湾・東海大学と学術・教育交流覚書を締結
- 2001年 5月 韓国・聖公会大学と学生交流及び学術交流協定締結
- 10月 沖縄大学エコキャンパス宣言
- 2002年 4月 第1回ジュニア研究支援
- 5月 国際規格ISO14001（環境マネジメントシステム）審査登録
- 2003年 1月 シドニー工科大学と学生交流協定を締結
- 4月 早期卒業制度、長期履修制度の導入
- 4月 寄付講座規程制定
- 4月 (財)大学基準協会正会員登録
- 2004年 1月 東京国際大学と単位互換協定を締結
- 5月 法政大学と単位互換協定を締結
- 11月 「沖縄大学広報」100号発行
- 2005年 4月 沖縄大学大学院 現代沖縄研究科を開設
- 7月 茨城キリスト教大学と単位互換協定を締結
- 7月 第一次中長期経営計画（2005～2007年度）を策定
- 2006年 4月 学生部に学生生活支援室を新設
- 6月 広島修道大学と単位互換協定を締結
- 2007年 3月 大学基準協会認証評価・相互評価
- 4月 人文学部こども文化学科の開設
- 7月 「菓子等食品ビジネスプランナー養成プログラム」が文科省の社会人学び直しGPに採択
- 7月 「美ら沖縄・環境まちづくりリーダー養成事業」が文科省の現代GPに採択
- 8月 「ノートテイクから広がる大学づくり」が文科省の特色GPに採択

- 「学びあい・支えあいの地域教育の拠点創生」が文科省の学生支援 GP に採択
- 2008年 5月 西安交通大学との友好交流協定を締結
- 6月 開学記念日 沖縄大学 50 周年記念式典・祝賀会
- 6月 新沖縄大学宣言「地域共創・未来共創の大学へ」
- 6月 創立 50 周年記念史『小さな大学の大きな挑戦』を刊行
- 11月 第二次中長期経営計画（2008 年度～2010 年度）を策定
- 2009年 8月 第一回教職合同研修会を開催
- 8月 「産学連携業界別就職特別セミナーの開設」が文科省の学生支援 GP に採択
- 8月 「全国の地域で活躍できるプロフェッショナルくまづくりリスト」育成プログラム」が文科省の戦略的産学連携支援プログラム（戦略 GP）に採択
- 9月 「清ら島づくり南西諸島高大連携プログラム」が文科省の大学教育推進プログラム（学生支援 GP）に採択
- 2010年 1月 「学校法人沖縄大学」へ法人名変更
- 5月 「沖縄県福祉のまちづくり推進功労者」沖縄県知事賞受賞
- 6月 新本館・体育館竣工記念式典・祝賀会
- 11月 上海・東華大学との学術交流協定を締結
- 2011年 6月 台湾・金門大学との学術交流協定を締結
- 7月 第三次中長期経営計画（2011～2013 年度）を策定
- 5月 那覇市制施行 90 周年記念特別表彰「教育・スポーツ功労部門」 表彰
- 2012年 4月 「地域共創センター」開設
- 4月 人文学部福祉文化学科 社会福祉専攻、スポーツ福祉専攻の 2 専攻へ
- 7月 第 56 回沖縄タイムス賞・社会活動賞受賞
- 10月 新沖縄大学宣言「地域共創・未来共創の大学へ」を沖縄大学憲章へ改称
- 11月 第 500 回土曜教養講座開講
- 2013年 4月 経営企画室を新設
- 2014年 2月 学生歌「未来に続く学舎で」（作詞：糸澤幸子 作曲：知花竜海）制作
- 3月 大学基準協会認証評価・相互評価により大学基準適合認定（2014～2021 年度）
- 3月 第四次中長期経営計画（2014 年度～2017 年度）を策定
- 2015年 2月 那覇市と学校法人沖縄大学との包括連携協力に関する協定を締結
- 2月 日本聴覚障害高等教育支援ネットワークに加盟
- 4月 図書館にライティングセンターを設立
- 11月 私立大学等改革総合支援事業タイプ 2「地域貢献」選定
- 2016年 2月 留学生別科閉科
- 11月 私立大学研究ブランディング事業（タイプ A）採択
- 2017年 1月 沖縄大学アネックス共創館及び隣接小グラウンド、整備開始
- 3月 私立大学等改革総合支援事業タイプ 1「教育の質的転換」選定
- 4月 沖縄大学アネックス共創館 供用開始
- 6月 関東学院大学と大学間交流協定締結
- 2018年 2月 私立大学等経営強化集中支援事業（タイプ A） 選定

- 2018年 6月 学生食堂『TERRACE 555』オープン
6月 沖縄大学創立60周年記念式典・祝賀会
6月 歴史資料展示エリア設置
6月 沖縄大学長期ビジョン『OKIDAI VISION 2028』骨子策定
8月 健康栄養学部管理栄養学科 設置認可
11月 創設者「嘉数昇」先生胸像設置
12月 4号館（新学部棟）竣工
- 2019年 2月 私立大学等経営強化集中支援事業 選定
3月 長期ビジョン OKIDAI VISION 2028 を策定
3月 第五次中期計画（2019年度～2023年度）を策定
4月 健康栄養学部管理栄養学科の開設
- 2020年 3月 長田第四駐車場完成
4月 法経学部法経学科を「経法商学部経法商学科」に名称変更
- 2021年 3月 長田第五駐車場完成
2021年 4月 法務監査室を新設
2021年 12月 アネックス共創館3階・4階改修工事完了

2. 大学の理念

沖縄大学憲章

～地域共創・未来共創の大学へ～

沖縄大学は、創立 50 周年の記念日を迎えるにあたり、「地域共創・未来共創の大学へ」を新たな大学の理念として確認し、以下の 3 つの目標を立て、実行することを宣言しました。

1. 地球市民・地域市民の共育の拠点

(1)地球市民のための知の集積の拠点:

沖縄大学の大学の理念である「地域に根ざし、地域に学び、地域と共に生きる、開かれた大学」を大学存立の使命として深く自覚し、21 世紀型社会である「グローバル社会」の要請に応える形でこの理念を「地域共創・未来共創の大学へ」と発展させ、地球大で考え足元から行動を起こす 21 世紀型市民である「地球市民」の共育をめざします。

(2)地域市民のための地域教育の拠点:

沖縄大学は、地域に根ざす大学として沖縄にしっかりと根をおろし、教育と研究の相乗効果で沖縄の活性化に尽力し、そのことを通じて学生を共育し大学の活性化を図ります。また、県都那覇市にある大学として、「人々が相互に交流し、実践し、生涯学び続ける地域教育の拠点」となることをめざします。

2. 地球環境・地域環境に貢献する教育研究

(1)地球環境に取り組む実践教育:

21 世紀は、環境危機が深刻化する世紀です。地球温暖化が進行すれば、沖縄の未来も、世界の未来もありません。沖縄大学は、「エコキャンパスからエコシティへ」というスローガンを掲げる大学として、まず足元のキャンパスから始め、沖縄から世界に向けて地球温暖化防止の実践教育を展開します。

(2)地域環境に取り組む研究提言:

戦争は最大の人権・環境破壊です。世界で年間 150 兆円も注ぎ込まれるといわれる軍事費は、貧困や地球環境問題などの地球規模の課題を解決するためにこそ使われるべきです。そのために沖縄大学は、自立した平和な沖縄を実現すべく、沖縄を軍事基地のない島とする多様な研究提言や実践に取り組みます。

3.共創力を育む大学教育への変革

(1)ユニバーサルな大学づくり:

現代の大学には障がいのある学生を含め多様な学生が入ってきます。沖縄大学は学生の力に依拠しつつ大学の責任を果たし、多様な学生の学びと育ちを支援するユニバーサルな大学づくりをめざします。

(2)人間力としての共創力の涵養:

沖縄大学が育成をめざす 21 世紀型市民とは、「他者との対話と協働を通じてより良い社会を創っていく力のある人間」、「日々変動する社会の中で生涯学び続ける意志を持ち自らの人生を切り拓くことのできる人間」です。こうした 21 世紀型市民として学生を育成するために、沖縄大学の教育課程の編成にあたっては、「何を教えるか」ではなく「何ができるようになるか」を重視します。アジアの人々との共生の基盤となる異文化への関心 と理解力を高めます。

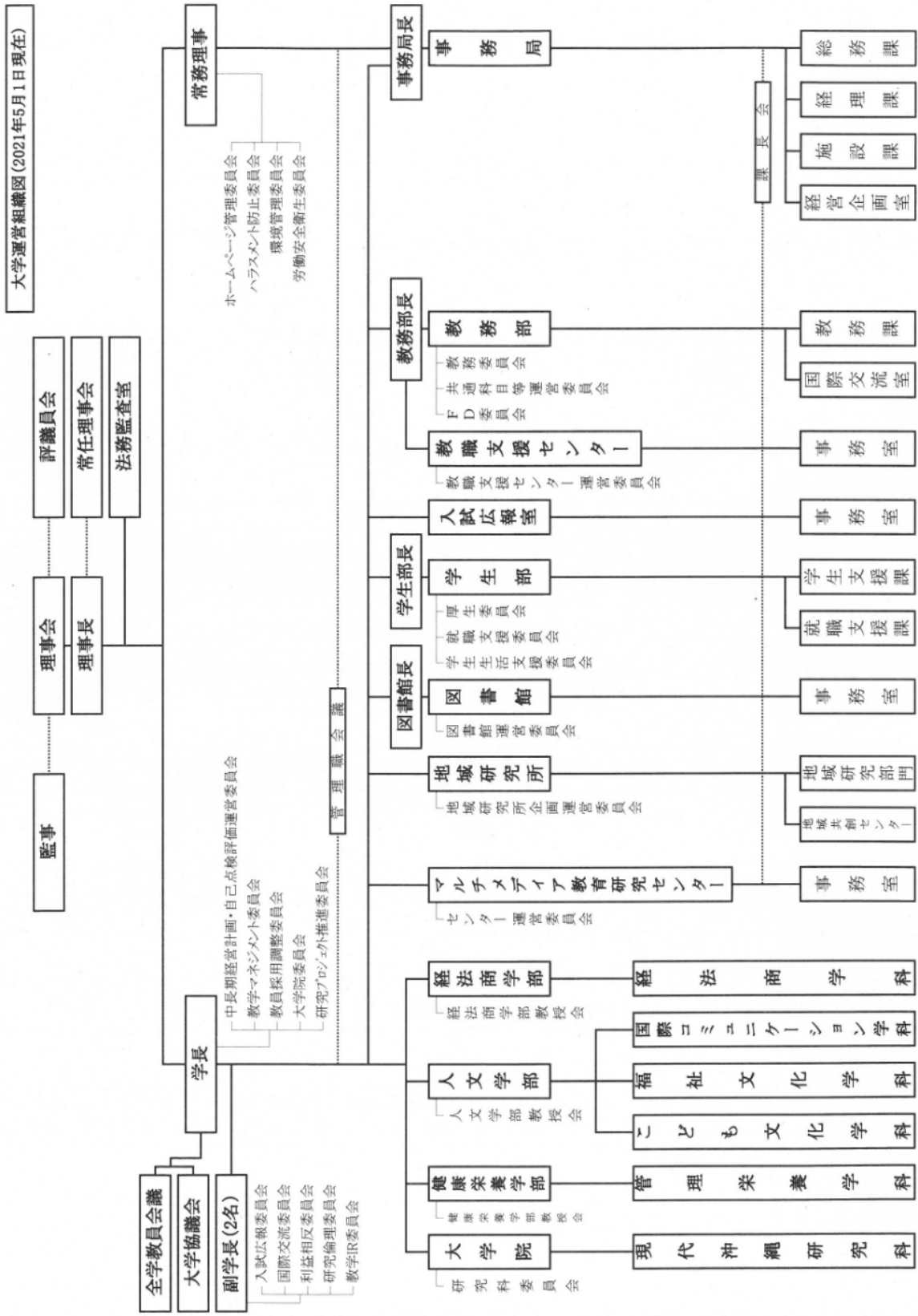
「競争力から共創力へ」、このスローガンのもと沖縄大学は、学生たちが互いに助け合い、教えあい、育ちあう環境を整備し、対話力・共創力・実践力のある人間の育成に努めます。

(3)学生主体の学びの場の共創:

人は、教えられることによって育つよりも、むしろ試行錯誤を含めた実践を通じて自ら学ぶことにより育つものです。従って 大学づくりにおいては、学生を大学の主人公にすえ、学生の可能性を最大限に引き出し、学生の主体的な参加を得て更に活力のある沖縄大学へと自己変革していきます。学生も教職員も、大学づくり、地域づくりの実践の中で育ち、育てられ、そのことを通じて沖縄大学は、今まで以上の高い評価を地域社会から勝ち得ていきます。

沖縄大学は、以上の 3 つの目標の実現に日々努め、地域共創・未来共創の大学に向け邁進します。

3. 大学運営組織図



4. 役員・評議員の概要

(1)役員 (2022年3月31日現在) 理事：定員数5～10人・現員数9人 監事：定員数2人・現員数2人

種別	氏名	役職等	選出根拠
理事	佐喜真 實	理事長 (元(株)琉球銀行執行役員・元(株)りゅうぎん総合研究所代表取締役社長)	学識経験者
	盛口 満	学長 (人文学部教授)	学長
	照屋 正	常務理事 (前(株)りゅうぎん総合研究所常務取締役)	評議員
	小野 啓子	副学長 (経法商学部教授)	評議員
	山代 寛	副学長兼図書館長 (健康栄養学部教授)	評議員
	知念 覚	那覇市副市長	学識経験者
	当真 良明	弁護士法人サイオン総合法律事務所代表弁護士	学識経験者
	仲里 武思	(株)リアランスエナジー沖縄代表取締役社長	学識経験者
	高良 茂	(株)沖縄銀行常務取締役	学識経験者
監事	新垣 淳	(株)沖縄海邦銀行専務取締役	寄附行為第7条
	城間 泰	(株)琉球銀行常務取締役	寄附行為第7条

(2)評議員 (2022年3月31日現在) 定員数13人～24人・現員数24人

氏名	役職等	選出根拠
喜納 憲利(議長)	元(株)りゅうせき常勤監査役 元(株)未来相互ガス監査役	学識経験者
佐喜真 實	理事長 (元(株)琉球銀行執行役員・元(株)りゅうぎん総合研究所代表取締役社長)	学識経験者
照屋 正	常務理事 (前(株)りゅうぎん総合研究所常務取締役)	学識経験者
盛口 満	学長 (人文学部教授)	学長
山代 寛	副学長兼図書館長 (健康栄養学部教授)	副学長
小野 啓子	副学長 (経法商学部教授)	副学長
崔 珉寧	経法商学部長 (経法商学部教授)	学部長
喜屋武 政勝	人文学部長 (人文学部教授)	学部長
新城 正紀	健康栄養学部長 (健康栄養学部教授)	学部長
黒木 義成	教務部長兼教職支援センター長 (人文学部教授)	教務部長
島袋 隆志	学生部長 (経法商学部教授)	学生部長
金城 直樹	事務局長	事務局長
森田 泰弘	法務監査室 専門員	職員
金城 敬	経営企画室長	職員
糸数 晃	図書館事務長	職員
田代 真紀	総務課長	職員
大城 達司	施設課長	職員
金城 正弘	沖縄大学同窓会顧問	卒業生

山城 成人	久米島製糖㈱ 取締役総務部長	卒業生
棚原 勝也	琉球朝日放送㈱営業ビジネス統轄本部編成局編成部長 沖縄大学同窓会長	卒業生
稲嶺 諭	ソリューション・プロジェクト代表取締役	学識経験者
嘉数 三義	元国場自治会会長	学識経験者
金城 祐子	㈱グレイス・ラム代表取締役	学識経験者
金城 正秀	おきぎん保証株式会社 総務部 部長	学識経験者

(3) 役員賠償責任保険契約の状況

1. 団体契約者： 日本私立大学協会
2. 保険責任期間： 2021年4月1日～2022年4月1日
3. 記名法人名： 学校法人沖縄大学
4. 被保険者
 - ・個人被保険者： 理事・監事、評議員、理事会で選任した管理職従業員（事務局長）
 - ・記名法人： 学校法人沖縄大学
5. 補償内容

法律上の損害賠償金、争訟費用、損害賠償請求対応費用、公的調査等対応費用、刑事
手続対応費用、財産または地位の保全手続等対応費用、信頼回復広告費用
6. 保険期間中総支払限度額： 3億円
7. 引受保険会社： 東京海上日動火災保険株式会社

5. 設置する学部学科・研究科の名称及び

入学定員・入学者数・収容学生数・専任者数

2021年5月1日現在

設置する 学校名	学部	学科	入学 定員	入学 者数	編入学 定員	編入学 者数	収容学生数		専任者数	
							定員	現員	教員 数	職員 数
沖縄大学	経法商 学部	経法商学科	220	239	11	9	901	985	75	56
	人文 学部	国際コミュニケーション学科	80	77	6	6	326	351		
		福祉文化学科	120	119	12	6	502	486		
		こども文化学科	50	57	8	1	208	224		
	健康栄養 学部	管理栄養学科	80	81	0	0	240	240		
	計		550	573	37	22	2,177	2,286		
	大学院	現代沖縄研究科	10	2	—	—	20	10		

Ⅱ. 事業の概要

1. 第五次中期計画の重点課題と基本課題を中心とする主要事業

～沖縄大学憲章、長期ビジョンの実現に向けた事業計画～

沖縄大学は2018年の60周年の節目に、沖縄大学憲章「地域共創・未来共創の大学へ」の実現に向けてどのような取り組みを進めていく必要があるのか検討を行い、憲章を実現するための10年間の長期ビジョン『OKIDAI VISION 2028“地域がキャンパス、地域のキャンパス”～沖縄大学は「知」と「人」の交流拠点となります～』を打ち出しました。

長期ビジョンの策定にあたっては、沖縄大学憲章の「地域共創・未来共創の大学へ」の3つ目標（1. 地球市民・地域市民の共育の拠点 2. 地球環境・地域環境に貢献する教育・研究 3. 共創力を育む大学教育への変革）を受け継ぎ、それらを具体化した3つの将来像（1. 沖縄大学という場 2. 沖縄大学の教育・研究 3. 沖縄大学の学生像）と、社会情勢に合わせた新たな共創に挑戦する将来像（4. 沖縄大学の新たな挑戦）の4つのテーマを掲げました。

【沖縄大学憲章】

- ・ 沖大憲章 1. 地球市民・地域市民の共育の拠点・・・・・・・・・・1. 沖縄大学という場
- ・ 沖大憲章 2. 地球環境・地域環境に貢献する教育・研究・・・・2. 沖縄大学の教育・研究
- ・ 沖大憲章 3. 共創力を育む大学教育への変革・・・・・・・・・・3. 沖縄大学の学生像
- ・ 社会情勢に合わせた新たな共創に挑戦する将来像・・・・・・・・4. 沖縄大学の新たな共創への挑戦

【長期ビジョンのテーマ】

また、この長期ビジョンを実現するために、5年間の中期計画（第五次中期計画）を同時に策定しました。中期計画においては、沖縄大学憲章をふまえた長期ビジョンの4つのテーマを、沖縄大学の特色を打ち出す「重点課題」としてしています。

一方で、大学は理念に向けて日々努力を積み重ねるだけでなく、理念を実現するためにも大学としての基盤を堅実に維持しなければならないというミッションも持っています。そのため、「激変する社会環境に柔軟に対応し得る組織改革と経営基盤の強化」についても、長期ビジョンで取り組むテーマとしてしています。第五次中期計画では、第四次中長期経営計画で掲げられていた「基本戦略」を引き継ぎ、大学の基盤を固めるために必要な「基本課題」としてしています。

また、「重点課題」と「基本課題」の各テーマは、中期計画に即した各年度事業計画で計画・実施し、事業の進捗については4段階で管理しています（0未着手、1問題有、2順調、3終了）。

■ 「重点課題」・・・長期ビジョンが掲げる「1. 沖大という場」「2. 沖大の教育・研究」「3. 沖大の学生像」「4. 沖大の新たな共創への挑戦」の4テーマ

■ 「基本課題」・・・「A志願者」「B中退者」「C社会接続」「D経営基盤」の4テーマ

第五次中期計画の3年目にあたる2021年度は、学科、研究科、部課局等の部署のレベルにおいて「重点課題」と「基本課題」の両面から計画を立て、事業に取り組みました。

重点課題1. 沖大という場 ～地球市民・地球市民共育の拠点～

<人文学部 国際コミュニケーション学科>

- ・新型コロナウイルスの影響で宿泊オリエンテーションが3年連続でキャンセルとなりましたが、宿泊なしのオリエンテーション（および、入学前オリエンテーション）では、在学生在が積極的に関わりました。在校生と新入生同士の繋がりを構築し、円滑な高大接続教育の基盤の確立に努めています。

<人文学部 福祉文化学科 社会福祉専攻>

- ・地域社会への貢献活動として、講義「市民社会とボランティア」による上間小学校へのボランティア派遣を順調に進めました。「学修支援ボランティア活動実施要項」にもとづき、学科学生56人がボランティア活動に参加しました。
- ・障害のある学生の学びの環境整備の事業として、ソーシャルワーク実習における合理的配慮を推進しました。就職支援課や学生支援課とも連携して、学生の配慮事項の確認を行い、実習受入れ施設との調整を進めました。
- ・基礎演習・専門演習で個人面談を行い、進路モデルを示しながら悩みや進路希望を聴き取った上で、学科教員で共有しました。基礎演習Ⅱ（2年次末）に面談を行うことで、学生の進路決定の後押しにつなげることができるため、この時期の面談が重要であることがわかりました。

<人文学部 福祉文化学科 健康スポーツ福祉専攻>

- ・2021年度沖縄県高校体育連盟主催「高校生のためのスポーツ講座」サポートに取り組みました（2017年度からサポートを継続実施）。
- ・障がい者スポーツイベント「チャレンジスポーツ教室」を計3回実施しました。
- ・中級指導員を目指す学生に teams でボランティア情報を提供し、特に3年次の学生に積極的な参加がみられました。
- ・八重瀬町ポッチャ大会、那覇市体育協会 e-sports 体験会等、複数の外部イベントの運営に学生が携わりました。
- ・沖縄県障がい者スポーツ協会と包括連携協定を締結しました。
- ・「専門演習 a」の取り組みで、「沖縄大学の多様性と調和」をテーマに動画を制作し、YouTube で公開しました。
- ・県外出身、および離島出身学生の状況を把握するため、1期～10期生の情報を整理した。

<人文学部 こども文化学科>

- ・沖縄本島出身でない学生も安心して学生生活を送れるように、県外・離島出身学生へのサポートに取り組みました。教員間の情報共有を基盤にして進めることができました。

<健康栄養学部 管理栄養学科>

- ・専任教員が沖縄県の食育ワーキングチーム委員会会議に参加しており、沖縄県の健康イベント等の企画に協力しました。
- ・沖縄に強い思いを持つ1期生の社会人学生が勉学面及び授業外の活動（チャレンジ沖大生等の活動）でもリーダーシップを発揮しました。活動の輪が後輩にも広がり、継続性が出てきました。

<国際交流室>

- ・コロナの影響により、2021年度も前年度に引き続き、協定校からの留学生の受入は中止しましたが、留学が叶わなかった学生への個別対応を行いました。

<学生支援課>

- ・コロナ対応による遠隔講義などで引きこもることが増え、心身への健康にフォローが必要なケースが発生したり、障がい学生支援における遠隔講義でのノートテイクなど、新たな対応が必要になりましたが、保健室、学生生活支援室、障がい学生支援における専門スタッフによる相談及び支援（カウンセラーとの関係含む）により、適切な対応を行いました。
- ・各種トラブル防止・予防教育支援として、新入生には「学生生活のてびき」や安全に関するパンフレット等を配布し、適宜、メール等で注意喚起を行いました。

<地域研究所>

- ・2021年度に実施した全8回の土曜教養講座中、経法商学科が2回、福祉文化学科が3回実施し、学科の特色を生かした講座を開催しました。また、子どもの貧困を扱った講座も2回実施しました。さらに、「地域研究所公開講座」という新たな公開講座を立ち上げ4回実施しました。カメラやスイッチャー、音声機材等を導入して高画質、高音質でのオンライン配信を実施する事ができました。
- ・沖縄県中小企業家同友会内の女性経営者部会「碧（あおい）の会」と連携し、オンラインによる公開講座を実施しました。また、那覇市とは包括連携協力協定を背景としたソーシャルワーク研修を継続して実施しました。

重点課題2. 沖大の教育・研究 ～地球環境・地域環境に貢献する教育・研究～

<経法商学部経法商学科>

- ・履修登録指導の強化と体制の確立のため、前期に問題発見演習合同ゼミとして、1年次に対する第1回目の説明会開催し、特にコース毎の特徴について説明を行いました。さらに後期には第2回目の説明会を開催し、各コースで開講されるゼミについて説明しました。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響から昨年度は実施できなかったゼミナール大会について、ハイブリッド形式で開催しました。
- ・自治体学、沖縄経済・企業論入門の開講、関東学院大学等との連携によるカリキュラムについて、オンライン授業等を通じて実施しました。

<人文学部福祉文化学科 社会福祉専攻>

- ・実習を行う学生の対人関係のスキル、専門的知識の個人差を鑑み、実習指導担当教員、専門科目担当教員の連携を進めると同時に、実習先指導者との連携を強めるため、zoomを用いて、実習担当者会議を年2回実施しました。実習先と事前に学生の情報の共有を行い、実習巡回時にも学生の指導について話し合いを行ったことにより、実習を深めることにつながったため、実習先指導者からも評価をいただくことができました。
- ・2021年度より、浦添市重層的支援体制整備事業にオブザーバーとして関わりを開始しました。地域の行政機関と専攻教員との協働により福祉サービスを必要とする住民への重層的支援体制整備事業に取り組みました。今後も地域貢献活動の一環として取り組みを継続します。

<人文学部こども文化学科>

- ・教員採用試験対策については、学科と教職支援センターとが協働しつつ、着実な実績を積み重ねることができました。(採用試験合格者数合計 39 名：現役 16 名、過卒 23 名)。
- ・卒業論文・卒業研究を通して、全員がこども文化学科での学習成果をそれぞれの形でまとめることができました。
- ・小学校英語科への対応として、初等英語、初等英語科教育法、ともに、旧課程の学生を含め、その重要性が周知され、ほとんどの学生に受講させることができました。

<健康栄養学部管理栄養学科>

- ・2021 年度より、健康栄養学部教員による大学院での科目設置が増え、健康福祉・生活環境分野関連の科目提供を充実させました。

<大学院>

- ・院生の研究テーマに沿って、地域での実践的研究活動や地域との交流に向けた助言や紹介等を行いました。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大によって厳しい制限が課せられる中、可能な限り、調査研究や研究発表の支援を行いました。
- ・院生それぞれの研究の進捗状況を発表する報告会について、大学院関係者だけでなく、学部ゼミ生や地域研究所の研究員等にも発表会の案内を出したことで、より多くの聴衆と有益な助言やコメントを得ることができました。

<教務課>

- ・遠隔授業の質向上に資する FD 活動を行いました。国際コミュニケーション学科の渡邊先生を講師として VR 講習会を実施し、学生の学びを深めるための FD を実施しました。
- ・教務委員会 (2022/2/25)、共通科目運営委員会 (2022/2/15) において各学科長、部会長、研究科長にシラバスチェックの依頼を行い、チェックを実施しました。
- ・拡大教学マネジメント委員会 (2022/2/24) において、各学科・研究科の学習成果実施報告を行いました。

<学生支援課>

- ・コロナにより新入生歓迎スポーツ大会や卒業パーティーなど中止しましたが、沖大祭をリモートによる方法で開催しました。

<マルチメディア教育研究センター>

- ・本館・1～3 号館無線 LAN リプレイスについて、2021 年 4 月上旬に完了させました。前回リプレイス (2015 年度) と比較して、無線 LAN 提供可能エリアを拡張することができました。
- ・ハイブリッドにも対応する PC 教室端末及び環境整備のため、既存デスクトップ端末は継続使用しながら、ノート PC を約 200 台導入しました。ノート PC の導入で、ゼミ等での利用や学生への貸出数も増加傾向にあります。

<教職支援センター>

- ・こども文化学科との連携の下、教員採用試験対策講座を 3 年次後期から毎週土曜日 9 時に実施しました。現役生 16 名、過卒生 36 名計 52 名の合格者を輩出することができ、昨年度に引き続き大きな成果を上げました。

重点課題3. 沖大の学生像 ～共創力を育む大学教育への変革～

<経法商学部経法商学科>

- ・学生の多様なチャレンジを促進するため、琉球弧研究支援、学Pリーグ等の機会や成果の情報共有を行いました。

<人文学部こども文化学科>

- ・「学校ごっこ（実施1年）（運営2年宮島ゼミ）」「沖大附属小中学校（実施2、3年）（運営同実行委員会）」については、例年通り、学生が積極的に取り組みその成果のまとめ（報告書）まで行うことができました。

<健康栄養学部管理栄養学科>

- ・学科教員が沖大ユリプロジェクトの企画・運営に携わり、学科の学生・教職員も参加して他学科学生と交流しながら、ユリの植え付けを行い教育環境の整備に貢献しました。

<学生支援課>

- ・コロナの影響により新歓スポーツ大会や卒業パーティーなどが中止となりましたが、沖大祭をリモートによる方法で開催しました。また、チャレンジ沖大生では3件を採用し、支援を行いました。
- ・コロナによる活動制限のある中、許可制によりサークル・クラブ活動を活動を認め、支援を行いました。

<就職支援課>

- ・資格取得助成金、県外就活渡航費補助など学生への支援を行いました。公務員奨励金の申請者が増え、7名に支給（前年度1名）することができました。

<図書館>

- ・ライティングセンターにおける2021年度レポート、卒業論文相談は265件でした。コロナ禍の影響のため、対面での利用件数は減少しましたが、メール相談に切り替えることにより対応しました。
- ・コロナ禍の影響により、館内利用を制限しているため、学外からも利用できる電子書籍のコンテンツを増やすなど対応しました。

重点課題4. 沖大の新たな共創への挑戦

<人文学部国際コミュニケーション学科>

- ・昨年まで、英語と中国語のボランティアを市内の小学校に派遣していましたが、今年は中国語の3年生のゼミより7人を天久小学校と銘苅小学校に派遣しました。中国系居住者の子弟のサポートを引き続き行いました。

<人文学部福祉文化学科健康スポーツ福祉専攻>

- ・地域研究所の公開講座を活用して、健康栄養学部教員と本専攻教員との協働による公開講座を実施しました。（8月27日「コロナに負けない！身近なことから始める健康づくり」、10月9日「子どもたちに健康と命の大切さを育む—教師のためのがん教育」）
- ・本専攻の同窓会の設立と10周年記念イベントの実施に向け、5回の会議を実施するなど、準備を進めました。2022年には「同窓会設立総会」を行う予定です。

- ・同窓会設立と合わせて、卒業生によるキャリア講演の実施に向け、社会人として活躍している先輩のリスト作成を進めました。

<健康栄養学部管理栄養学科>

- ・那覇市社会福祉協議会を中心としたこども食堂の支援を行いました。
- ・沖縄県栄養士会の配慮により、沖縄県独自の学生会員システムが開始されました。在学中より職能団体（栄養士会）の活動の参加することで、管理栄養士としての意識を高めることにつなげていきます。

<学生支援課>

- ・沖大祭、チャレンジ沖大生では、コロナの状況下でリモートやコロナ対策により許可できる範囲で地域参加、連係を意識した取り組みを実施しました。

基本課題A「志願者」志願者を十分に獲得し、APに基づく選抜を実現

新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインでオープンキャンパスを実施するなど、入試広報室と各学科が連携して本学の特色を伝える広報活動を展開しました。2021年度の入学者数は573名となり、入学定員を充足することができました。

(入試広報の取組み)

- ・新しいCMを年始と一般選抜願書受付中前に集中的に放映し周知を図りました。
- ・新たに天気予報CMを作成し、イメージアップを図りました。
- ・入試サイトの見映えを意識し主にSNSインスタを中心に利用して、受験生目線（とりわけ女子高生目線）に特化し発信しました。

基本課題B「中退者」中退者を出さない教育と学生支援

<経法商学部 経法商学科>

- ・新型コロナウイルス感染症の影響のため、新入生むけの履修指導はコンピューター教室を利用し、教室毎に数名の教員を配置して、登録をおこないながら個別相談に応じました。また、欠席者に対しても、個別に相談を受けて履修相談を実施しました。

<人文学部 福祉文化学科社会福祉専攻>

- ・問題発見演習・基礎演習の教員による、定期的な会議の中で個別学生についての情報交換を行いました。大学生活に不安や戸惑いが見られる学生などには個別に連絡を取ったり、面談を行い対応しました。学生支援課のソーシャルワーカーなどとの個別協議も行い中退を減らすよう支援を行いました。

<人文学部 福祉文化学科健康スポーツ福祉専攻>

- ・月1回専攻会議内で全学年の学生情報を共有しました。
- ・特に2020年度入学生に注視し、2021年度前期「基礎演習」で1年遅れの入学式を行いました。
- ・月1回「問題発見演習」担当者会議を開催し、新入生の状況確認や学生指導について協議しました。(社会福祉専攻と合同)

<人文学部 こども文化学科>

- ・定例の学科会議（通算19回実施）では、学年ごと、ゼミごとに、気になる学生の情報を共

有しました。

- ・コロナ禍で、学業面・人間関係面でも特に課題をも抱えがちな編入学生について、履修指導や人間関係形成における支援等を行いました。

<健康栄養学部管理栄養学科>

- ・中退の恐れのある学生に対して、その要因等について聴き、学生に寄り添った対応を行いました。

<大学院 現代沖縄研究科>

- ・エントリー面接で受験者の話を十分丁寧に傾聴し、助言を行い、ミスマッチを避けるよう務めました。外国籍受験希望者の日本語能力についても丁寧に確認を行い、助言を行いました。
- ・入学後の研究活動に備えた事前学習についても個別に助言を行いました。
- ・院生のニーズと一致していない演習・講義の形式や内容について聞き取り、関係部署と対応策を講じました。

<教務課>

- ・学修支援室において初年次学生への個別の履修指導を進めました。

<学生支援課>

- ・学修支援制度の利用状況に鑑み学内奨学金の見直しを行った。各種事務については学内奨学金1名、JASSO 担当2名を配置し円滑な対応に努めました。
- ・メールや電話による学生からの意見や苦情について、関係部署と連携して対応を行いました。
- ・保護者との連携を強化するため、要望に応じて個別面談を行いました。教務課の学修支援担当者をはじめ関係部署とも連携を図りながら実施しました。

基本課題C「社会接続」社会と納得できるつながりを創り卒業

<人文学部福祉文化学科 社会福祉専攻>

- ・在学生（受験生）、卒業生、同窓会と連携し、社会福祉士及び精神保健福祉士の国家試験激励会をオンラインで実施しました。在学生と卒業生の繋がりが生まれ、卒業生から在学生への勉強方法のアドバイスが行われました。国家試験対策室のチューターを仲介に SNS でのつながりが増加し、就職等のアドバイスにも発展しています。
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響の中、実習施設では、実習生を最大限受け入れてくれました。実習報告会や担当者会議は、オンラインにて行い、連携を深めました。
- ・国家試験対策には、社会福祉士会に講師派遣を依頼し、現場の指導者に、オンラインにて講話をお願いしました。

<人文学部こども文化学科>

- ・「教員養成の沖大」ブランドの確立に向け、教員採用試験対策について、一次対策は年間を通じて毎週1回、二次対策は直前1か月前以降、過卒者も対象に毎日実施しました。
- ・学科に集まる卒業生教員の情報を整理、共有しました。教育現場で生じるさまざまな実践的な課題や成果を、集約し整理し、その取り組みから見えたものは学科紀要でも発表されました。

<健康栄養学部管理栄養学科>

- ・管理栄養士国家試験対策として、3年生を対象に「日本医師薬研究会による出張講座」及び「トライアル模擬試験」等を企画・実施し、国家試験に向けての意識付けを行いました。

<大学院 現代沖縄研究科>

- ・十分な研究能力を有する修了者に対して地域研究所特別研究員への推薦等を各指導教員が行いました。

<就職支援課>

- ・中小企業論等のキャリア関連科目を中心に沖縄県中小企業家同友会と連携協力を進めました。

基本課題D「大学運営・経営基盤」激変する社会環境に柔軟に対応し得る組織改革と経営基盤の強化

【大学運営・経営基盤】

<総務課>

- ・管理職会議メンバーを中心とした構成で、毎週月曜日に新型コロナ対策本部会議を開催、情報共有とともに迅速な対応の協議を行いました。
- ・教職合同研修会を Zoom によるオンラインで実施しました（8月17日）。倉部史記氏を講師に「中途退学者を減らすために必要なこと～高大連携の観点で考える、持続可能な学生募集と中退予防～」を開催し、本学の喫緊の課題である中退問題についての知見を深めました。
- ・危機管理ガイドライン制定時(2020年度)に未制定だった「沖縄大学化学物質管理規程」「沖縄大学化学物質管理委員会規程」を制定（2022年1月17日）しました。

<経理課>

- ・勘定科目の追加や、消耗品費と用品費を区別するための金額処理基準設定等のため、経理規程の別表を改正しました。
- ・決算早期化に向けて、施設課と図書館の協力を得て、固定資産台帳と会計処理の金額の数字合わせを早期の段階から実施しました。

<経営企画室>

- ・本学と取引のある企業を中心に訪問し、負担感なく協力してもらえるよう、少額寄附（一口3万円）を依頼し、11先39万円の寄附を頂くことができました。
- ・認証評価における改善課題・是正勧告は無かったものの、20件の改善コメントをいただいた点について、学部・学科ごとの教員組織編成方針の策定や、副学長の選任手順の明文化等、できることから対応を行いました。

【その他取り組み】

<施設課>

- ・アネックス3F・4F整備のためのプロジェクトチームを立上げ、これまでの改装計画を確認しつつ、計画の見直しを行い、3Fを学生のサークル室（部室）とトレーニング室、4F舞台・講堂の形は残しつつサークル活動（練習場）として整備しました。コストの圧縮に努めつつ、トイレの増設及び壁、床の取替えを行いました。
- ・本館空調機の更新を実施しました。

<経営企画室>

- 地域における学科や学生団体の取組等を、HP や広報誌で紹介し、沖大の魅力をPR する広報活動を行いました。
- コロナの影響で講演会やイベント等は開催できませんでしたが、新入生向けの沖大らしいプチプレゼント（在学生や卒業生、教職員からのメッセージカードと焼き菓子）を学生と一緒に企画しました。
- 英語ページを作成・公開しました（3月23日）。

2. 地域貢献事業

(1) 公開講座の実施

1976年に開講した土曜教養講座は、2021年度で46年目を迎えました。

本講座は、沖縄大学地域研究所所員はじめ特別研究員や地域諸団体との共同研究の成果を地域に発表する場として長年実施してきました。また、時宜に適ったテーマでシンポジウムや講演会を企画し、地域における教養講座の役割も果たしてきました。

2021年度も、地域研究所共同研究班の研究成果や学科の特色を活かした講座を中心に、包括連携協力協定を締結している諸団体等との共同企画も含め多様な公開講座を実施しました。

●土曜教養講座等開催一覧（8回）

	開催日	内容	申込人数
1	4月17日	<p>【オンライン】第575回土曜教養講座</p> <p>コロナ禍だからこそつながろう！子どもと遊び</p> <p>【講師】 岡花祈一郎（琉球大学教育学部准教授） 上運天健（うるま市こども部こども未来課課長） 菅原耕太（ももやま子ども食堂主任） 天願順優（コスモストーリー保育園園長） 山城康代（みどり町児童センター館長） 山崎新（国場児童館館長） 山野良一（沖縄大学人文学部福祉文化学科教授）</p>	122人
2	6月12日	<p>【オンライン】第576回土曜教養講座</p> <p>琉球列島の自然を考える 世界自然遺産登録に向けた現状と課題</p> <p>【講師】 五箇公一（国立環境研究所 生態リスク評価・対策研究室室長） 山田文雄（沖縄大学客員教授・世界自然遺産候補地科学委員会委員） 盛口満（沖縄大学学長） 城ヶ原貴通（沖縄大学経法商学部准教授）</p>	101人
3	7月3日	<p>【オンライン】第577回土曜教養講座</p> <p>若年妊婦をどう支えていくのか</p> <p>【講師】 山内優子（一般社団法人おきなわ子ども未来ネットワーク） 平安名萌恵（立命館大学先端総合学術研究科一貫性博士課程） 島村聡（沖縄大学人文学部社会文化学科教授） 山野良一（沖縄大学人文学部福祉文化学科教授）</p>	199人
4	9月25日	【オンライン】第578回土曜教養講座	

		大切な人を最後に看取ること—終末期ケアを考える 【講師】 大下大圓（飛騨千光寺住職、名古屋大学医学部講師(非)、日本ホスピス在宅ケア研究会理事) 上原弘美（サバイバーナースの会「ぴあナース」代表・看護師） 金城ユカリ（中頭病院勤務・認定緩和看護師） 山代寛（沖縄大学副学長）	140人
5	10月30日	【オンライン】第579回土曜教養講座 共生社会をめざして コロナ禍における外国人をめぐる法政策 【講師】 奥貫妃文（相模女子大学社会マネジメント学科准教授・東ゼン労組執行委員長） 指宿昭一（暁法律事務所・代表弁護士） グエン・ド・アン・ニエン（名桜大学大学院言語文化研究科修士課程修了・日越翻訳家） 岩垣真人（沖縄大学経法商学部准教授） 春田吉備彦（沖縄大学経法商学部教授）	46人
6	12月4日	【オンライン】第580回土曜教養講座 アフターコロナと自然災害 【講師】 稲垣暁（災害ソーシャルワーカー/(一社)災害プラットフォームおきなわ） 谷口友一（沖縄大学経法商学部講師） 山田克宏（秋田県社会福祉士会理事/秋田看護福祉大学看護福祉学部助教授） 河合壘（岩手大学人文社会科学部准教授） 圓田浩二（沖縄大学経法商学部教授）	29人
7	2月12日	【オンライン】第581回土曜教養講座 米軍基地と基地労働者 【講師】 ハサンボイ・ラヒムベルガノフ（名古屋大学修士課程2年生） 紺谷智弘（全駐労中央執行委員長） 伊原亮司（岐阜大学地域科学部准教授・社会学博士(一橋大学)） 春田吉備彦（沖縄大学経法商学部教授）	52人
8	3月26日	【オンライン】第582回土曜教養講座 沖縄における障がい者スポーツ振興の現在と未来 【講師】 手登根雄次（沖縄県障がい者スポーツ協会 理事、(一社)琉球スポーツサポート 代表） 屋良景斗（沖縄盲学校高等部専攻科 教員、ブラインドサッカーチーム琉球 agachi 代表） 中山健二郎（沖縄大学人文学部福祉文化学科講師）	26人

● 「売場の科学」(4回)

講師：渡辺 隆之(沖縄大学客員教授) 開催回数：4回

	開催日	テーマ	申込人数
1	9月15日	【オンライン】売場がマーケティングする！	70人
2	10月6日	【オンライン】基本を忘れていませんか？	74人
3	10月27日	【オンライン】お客様の価値を高めるとは？	73人
4	11月17日	【オンライン】お客様を飽きさせない売り方の極意とは？	73人

● 「地域研究所公開講座」(4回)

暮らしの中の課題や身近な事象を取り上げ、地域性への特化を試みたオンライン講座。2021年度より実施。

	開催日	タイトル	申込人数
1	8月27日	【オンライン】第1回地域研究所公開講座 コロナ禍に負けない！身近なことから始める健康づくり 【講師】 宮本晋一(沖縄大学人文学部教授) 喜屋武ゆりか(沖縄大学健康栄養学部講師) 嘉数健悟(沖縄大学人文学部准教授)	24人
2	9月29日	【オンライン】第2回地域研究所公開講座 障がい者雇用促進のために —事例報告&ディスカッション— 【講師】 比嘉えみ子(有やんばるライフ専務取締役) 下田美智子(株共栄環境代表取締役) 仲本和美(有仲松ミート執行役員) 島村聡(沖縄大学福祉文化学科教授)	16人
3	10月9日	【オンライン】第3回地域研究所公開講座 子どもたちに健康と命の大切さを育む —教師のためのがん教育— 【講師】 笹原健市(沖縄県立開邦中学校保健体育教諭) 砂川龍馬(那覇市立石田中学校保健体育教諭) 山代寛(沖縄大学副学長) 嘉数健悟(沖縄大学人文学部准教授)	31人
4	11月29日	【オンライン】第4回地域研究所公開講座 ※講義「キャリアデザイン入門」の配信 女性リーダーの育成 —ロールモデルからの提言— 【講師】 友寄利律子(ライフサポート代表) 与那覇依子(株式会社樹来代表) 大城恵美(株式会社近代美術代表) 島袋隆志(沖縄大学経法商学部教授)	7人

(2) 「地域研究」「地域教育」「地域連携・貢献」による大学の特色化

本学は「沖縄型福祉社会の共創 - ユイマールを社会的包摂へ -」（私立大学研究ブランディング事業<2016-2018>）のテーマで特色化を進めてきました。同事業を経て、沖縄の子どもの貧困問題の解決に向けた取組みを展開しています。

沖縄の子どもの貧困問題に関わる研究

	分野	事業種	内容	主担当
1	地域研究	全学研究プロジェクト	地域の健康・栄養課題改善における実践、支援法のスキルの検討--ライフステージにおける子どもの相対的貧困と食環境・食生活・社会環境との関連に関する研究：(2) 幼児期	逸見幾代（健康栄養学部教授）
2	地域研究	個人研究	子どもの貧困対策支援員の研修ニーズに関する研究	島村聡（人文学部教授）
3	地域研究	委託事業	沖縄県子ども調査事業（沖縄県）	山野良二（人文学部教授）

沖縄の子どもの貧困問題に関わる教育

	分野	事業種	内容	主担当
1	地域教育	土曜教養講座	コロナ禍だからこそつながろう！子どもと遊び	山野良二（人文学部教授）
2	地域教育	土曜教養講座	若年妊婦をどう支えていくのか	島村聡（人文学部教授）

沖縄の子どもの貧困問題に関わる地域連携

	分野	事業種	内容	主担当
1	地域連携	委託事業	子どもの貧困ソーシャルワーク研修（那覇市、豊見城市）	島村聡（人文学部教授）
2	地域連携	委託事業	沖縄子どもの貧困緊急対策事業「支援員及び子どもの居場所の活動支援事業」（沖縄県）	島村聡（人文学部教授）

(3) 「出前講座・体験授業」の実施

沖縄大学では、地域貢献の一環として多様な学習機会の一助となるよう、小学校・中学校・高校への「出前講座・体験授業」の実施をしています。

「出前講座・出前授業」（小学生・中学生・高校生向け講座） 開催講座数：24 講座

	開催日	実施時間	実施校	講座名	担当講師
1	5月18日	10:20～11:10	陽明高校	仲良しユガミンを見つけて上手にストマネ	松尾 理沙（こども文化学科准教授）
2	5月21日	9:05～9:55	首里東高校	目標を達成するにはコツがある	石原 端子（福祉文化学科准教授）
3	5月25日	11:20～12:10	北部農林高校	知ってびっくりタバコの真実	山代 寛（管理栄養学科教授）

4	7月14日	8:45～ 11:25	越来小学校	知ってびっくりタバコの真実	山代 寛 (管理栄養学 科教授)
5	7月30日	13:00～ 14:20	つくば開成高校	沖縄の歴史・文化入門	宮城 能彦 (こども文 化学科教授)
6	10月11日	13:50～ 15:40	陽明高校	ベトナムのストリートチルド レン	吉井 美知子 (国際コ ミュニケーション学科 教授)
7	10月25日	13:50～ 15:40	陽明高校	マンガとジェンダー	宮城 公子 (国際コ ミュニケーション学科 教授)
8	10月26日	14:50～ 15:40	糸満高校	自分探しはやめよう～「自 分」は探すものではなく作る もの～	宮城 能彦 (こども文 化学科教授)
9	11月17日	13:55～ 14:45	北中城高校	何のために働くの？	宮城 能彦 (こども文 化学科教授)
10		14:50～ 15:40	豊見城高校	働くということ	春田 吉備彦 (経法商 学科教授)
11	11月19日	9:00～ 10:00	宮森小学校	喫煙・薬物乱用に関する講話	山代 寛 (管理栄養学 科教授)
12	11月24日	10:10～ 11:00	真和志高校	いのちの輪について(救急救 命を中心に)	山代 寛 (管理栄養学 科教授)
13		11:10～ 12:00		ジェンダー法学	高良 沙哉 (福祉文化 学科教授)
14	11:10～ 12:00	個人情報って何だろう？イン ターネットでの護身術		平野 貴大 (福祉文化 学科助教)	
15	11月25日	12:10～ 13:00		困っている人を支える専門職 を知ろう	平野 貴大 (福祉文化 学科助教)
16		14:20～ 15:10		SST (ソーシャル・スキル ズ・トレーニング) を体験し よう	名城 健二 (福祉文化 学科教授)
17	11月26日	9:10～ 10:00		『働くこと』とは何かーチー ム・ワークを考えるー	島袋 隆志 (経法商学 科教授)
18		10:10～ 11:00		目標を達成するにはコツがあ る！	石原 端子 (福祉文化 学科准教授)
19	11月26日	10:00～ 11:00		陽明高校	沖縄編 わかもの” 食べご と” ー” わたしのからだ想 い student's 弁当
20	12月1日	10:45～ 12:35	西原中学校	どうして勉強しなくてはいけ ないの？	宮城 能彦 (こども文 化学科教授)
21	12月14日	10:55～ 12:45	西原中学校	『働くこと』とは何かーチー ム・ワークを考えるー	島袋 隆志 (経法商学 科教授)
22	12月16日	13:40～ 15:30	宮古高校	日中文化の違いについて	王 志英 (国際コミュ ニケーション学科教 授)
23	2月1日	12:10～ 13:00	石川高校	働くということ	春田 吉備彦 (経法商 学科教授)

24	3月7日	10:35～ 11:20	浦添小学校	生物多様性と私たちの暮らし やんばるが世界自然遺産に	城ヶ原貴通（経法商学 科准教授）
----	------	-----------------	-------	-------------------------------	---------------------

（４）教員免許状更新講習の実施

沖縄大学では、社会人教育の一環として、教員免許状更新講習を実施していますが、2021年度は新型コロナウイルス感染症拡大状況を鑑み、全日程が中止となりました。

※教員免許状更新講習について

文部科学省の認可を受けて、教員免許更新講習の必修領域（6時間受講必須）・選択必修領域（6時間受講必須）・選択領域（18時間以上受講必須）を開設。講習を通して、教員に求められる最新の知識・技能の習得と今日的な教育課題についての理解をより深めていただくことを目指しています。

2021年度 教員免許状更新講習＜開設科目一覧＞

【全日程中止】新型コロナウイルス感染症拡大状況を鑑み、2021年度開設科目の全日程を中止。

領域	開催日	講座名	担当講師	受講者数
必修	8/7 ※中止	教育の最新事情（6時間）	池間 生子 吉川 麻衣子 嘉数 健吾	
選択必修	8/9 ※中止	教育の情報化とICTの授業での活用（6時間）	八幡 幸司	
		チームワークとモチベーションを考える ーキャリア教育を念頭にー（6時間）	島袋 隆志	
		学校の変化と学習指導要領	黒木 義成	
選択	8/13 ※中止	いのちの輪を育てる保健教育・指導（6時間）	山代 寛	
		体育授業で活かす：スポーツ・レクリエーションとアダ プテッド・スポーツ（6時間）	宮本晋一 中山健二郎	
	8/18 ※中止	子どもの貧困問題の理解と支援（6時間）	山野 良一 島村 聡	
		英語教育の基礎知識ー指導者に求められる理論と実践 ー	上原 周子 天久 大輔	
	8/19 ※中止	多様なニーズを持った子どもの理解と家庭環境の不安 定さが子どもの将来のメンタルヘルスに与える影響を 考える～スクールソーシャルワークと精神保健の立場 から（6時間）	名城 健二	
		小中学校の国語の授業づくりのために（物語文「お手 紙」「故郷」を例に）（6時間）	喜屋武 政勝	

（５）講師の派遣

沖縄大学では、教員を自治体等へ委嘱委員、講師として派遣しています。政策形成への寄与、知の還元等により地域社会への貢献を行っています。

学科	教員数	派遣教員数	短期派遣	中・長期派遣	合計
経法商学科	27	9	5	19	24
国際コミュニケーション学科	12	6	15	2	17
福祉文化学科	16	9	39	17	56
こども文化学科	9	4	10	4	14
管理栄養学科（助手含）	17	6	10	7	17
その他（事務局参与等）		3	6	4	10
合計	81	37	85	53	138

（６）那覇市議会報告会の開催（中止）

2017年度から毎年度開催してきた那覇市議会報告会および市民との意見交換会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、昨年度に引き続き、実施を見送ることになりました。市民の声を市政に反映させるため、議員のかたがたが直接、市内各地（4会場）に出向き開催している同報告会について、学生や教職員、近隣市民に議会や市政に対する関心を喚起していく趣旨に沿い、今後とも那覇市議会議員と意見交換ができる場を提供できるよう取り組みます。

（７）期日前投票（中止）

選挙の期日前投票会場を学内に設置（本館多目的教室）してきましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、昨年度に引き続き、学内実施はありませんでした。学生、教職員や近隣住民のかたがたの投票を促すだけでなく、学生が選挙スタッフとして関わることで主権者教育の一環となってきたため、今後とも期日前投票会場が学内に設置できるよう努めてまいります。

3. 学生活動の実績

(1) クラブ活動・ゼミ活動等の実績

競技名・団体名	日付	大会
硬式野球部	4月3日～ 5月3日	第105回九州地区大学野球選手権 南部九州ブロック大会 沖縄地区予選 優勝 殊勲賞：島袋瑤平、最多勝利投手賞：仲地礼亜、打点賞：与那嶺大輝・松堂秩己、打撃賞1位：松堂秩己、打撃賞2位：与那嶺大輝、最多盗塁賞：松堂秩己・大城拓巳、新人賞：平典士、ベストナイン：(投手)仲地礼亜、(二塁手)与那嶺大輝、(三塁手)松堂秩己、(遊撃手)岡田尚真、(外野手)大城拓巳
	5月24日～ 26日	第105回九州地区大学野球選手権 南部九州ブロック大会決勝リーグ(鹿児島) 優勝 最優秀選手賞：仲地礼亜
	6月7日～ 13日	第70回全日本大学野球選手権記念大会(東京都) 出場
	10月2日～ 3日	第106回九州地区大学野球選手権 南部九州ブロック大会 沖縄地区予選 3位 新人賞：仲宗根滉大
	10月23日 ～24日	第23回沖縄県大学野球フレッシュトーナメント大会 優勝 殊勲賞：眞喜志隼聖
	11月13日 ～14日	第10回九州地区大学野球連盟 新人戦決勝トーナメント(福岡県) 優勝
空手道部	4月29日	2021年度沖縄県学生空手道選手権大会 〈男子〉個人形優勝：眞喜志勇哉、準優勝：川村真太郎、個人組手3位：與那覇大武 〈女子〉団体形準優勝(本村優利花、下門未幸、新屋乙葉)、個人組手3位：本村優利花
	6月5日	第40回沖縄県空手道選手権大会県国体一次予選会 成年男子形 準優勝：川村真太郎、3位：眞喜志勇哉、個人組手：與那覇大武 国体強化メンバー選出〈形〉川村真太郎・眞喜志勇哉、〈組手〉與那覇大武・嘉数明斗・仲宗根朝太
	7月4日	第65回全日本学生空手道選手権大会(兵庫県) 男子個人形ベスト8
	10月16日	第70回全九州大学空手道選手権大会(福岡県) 〈男子〉団体形3位(本村進之輔、川村真太郎、平安名翔太) 〈女子〉団体形3位(本村優利花、下門未幸、新屋乙葉)

サッカー部	12月4日～ 12日	2021年度九州大学サッカーリーグ（代替大会）（福岡県） 2部 8位 優秀選手賞：石田康太
女子サッカー部	11月13日 11月23日 11月28日	沖縄県女子サッカーリーグ 2部2位
男子バスケット ボール部	10月9日～ 31日	第28回全九州大学バスケットボールリーグ戦（大分県・福岡 県） 2部優勝 1部昇格
女子バスケット ボール部	11月6日～ 14日	第28回全九州大学バスケットボールリーグ戦（福岡県・佐賀 県） 3部3位
陸上競技部	5月8日～ 9日	第72回沖縄陸上競技選手権大会兼国体選考会 〈男子〉800m6位：安里良也、1500m4位：安里良也、 4×400mR4位：伊藤夢希斗・本間慎太郎・岸本隆之輔・幸良琉 海、走高跳7位：岸本隆之輔、ハンマー投2位：仲田一星・3 位：大野銀太 〈女子〉100mH1位：阿波根朱里、400m8位仲地楓華、800m7 位：黒澤秀香、1500m6位：黒澤秀香
	8月27日～ 29日	第91回九州学生陸上競技対校選手権大会（福岡県） 〈男子〉1500m4位：安里良也、3000mSC5位：安里良也、ハン マー投7位：仲田一星 〈女子〉100mH6位：阿波根朱里、棒高跳6位：名嘉眞メグ、 4×100mR3位：大城咲羅・阿波根朱里・本田琴音・仲地楓華
	9月24日～ 26日	第49回九州学生陸上競技選手権大会（福岡県） 〈男子〉1500m2位：安里良也 〈女子〉1500m3位：黒澤秀香、100mH4位：阿波根朱里、棒高 跳4位：名嘉眞メグ
	10月16日 ～17日	第6回九州学生陸上競技新人選手権大会（長崎県） 女子 100m H2位：阿波根朱里
	10月17日	沖縄県長距離記録会 〈男子〉1500m1位：安里良也・5位：仲 程太陽 〈女子〉3000m4位：黒澤秀香
	11月14日	第18回沖縄県秋季記録会 〈男子〉200m4位：本間慎太郎、 300m2位：本間慎太郎・5位：長濱瑠希斗・7位：伊藤夢希斗、 ハンマー投げ1位：仲田一星・2位：大野銀太 〈女子〉棒高跳び1位：名嘉眞メグ
	男子バレーボ ール部	11月20日

女子バレーボール部	10月29日 ～31日	令和3年度九州大学秋季バレーボール女子リーグ熊本大会（熊本県） 4位
軟式野球部	5月14日～ 6月27日	2021年度沖縄県大学軟式野球連盟春季リーグ戦 準優勝 優秀選手賞：大城朝太
	8月18日	令和3年度大学軟式野球日本代表選出 大見謝彩虹
	9月30日～ 10月1日	2021年度沖縄県大学軟式野球連盟秋季リーグ戦 準優勝 優秀選手賞：松田幸太
	12月13日 ～17日	全日本大学軟式野球連盟交流事業（長崎県） 出場 大見謝彩虹
水球部	7月17日	第97回日本学生選手権水泳競技大会水球競技九州地区予選会（熊本県） 3位
吹奏楽部	12月12日	第46回沖縄県アンサンブルコンテスト 金賞
学生団体み～ま～る	12月15日 ～20日	チャレンジ沖大生企画「Let me fly ～拵げよう結いの輪を～（食支援）」

（2）学生の研究支援

OKIDAI VISION 2028「地域がキャンパス 地域のキャンパス」の実践として、学生のフィールドワークを奨励する「琉球弧研究支援」プログラムを実施しています。

学生は、企画書や報告書をまとめる中で地域についで理解を深め、研究成果発表会を通し地域の役に立つ人材像を考えていきます。地域の方々と関わり合いながら、自ら学び考えることのできる地域教育を目指しています。

琉球弧研究支援プロジェクト

	学科/学年	テーマ
1	経法商 1年次	沖縄の化石 ーリュウキュウに生きた生物を知るー
2	経法商 3年次	泡盛の現在 ー沖縄の若者たちの泡盛感ー
3	現代沖縄研究科 M1	近世期世紀における琉球の国家プロジェクト
4	現代沖縄研究科 M2	清代琉球王国の進貢貿易について ー進貢品の分析を中心にー

4. 学事報告

日付		学事報告
4月	1日	沖縄大学広報 154号発行、沖縄大学図書館報 南十字星 第81号発行
	2日	2021年度沖縄大学・沖縄大学大学院入学式 ※午前・午後に分けて開催
	5日～8日	新入生オリエンテーション
	9日	前期講義開始
	14日	第3回学内合同企業説明会(2022卒対象)
	17日	第575回土曜教養講座「コロナ禍だからこそつながろう！子どもと遊び」
5月	14日	第4回学内合同企業説明会(2022卒対象)
	17日	新入生歓迎大会 ※オンライン開催
6月	4日	子どもの貧困ソーシャルワーク研修「オリエンテーション、講義、事例検討」
	8日	子どもの貧困ソーシャルワーク研修「事例検討」
	10日	創立記念日
	12日	第576回土曜教養講座「琉球列島の自然を考える 世界自然遺産登録に向けた現状と課題」
	15日	3年次対象就活スタートガイダンス
	25日	2021年度沖縄大学後援会 総会
	26日	大学院第1回学位論文等中間発表会
7月	3日	第577回沖縄大学土曜教養講座「若年妊婦をどう支えていくのか」
	15日	子どもの貧困ソーシャルワーク研修「事例検討」
	29日	福祉文化学科健康スポーツ福祉専攻卒業論文中間発表会
8月	1日	沖縄大学広報 155号発行
	7日	福祉文化学科社会福祉専攻卒業論文中間発表会
	7日～11日	新型コロナワクチン職域接種実施(1回目)
	14日	大学院学位論文等最終発表会
	17日	教職員合同研修会 ※オンライン開催

9月	2日	久米島地区保護者懇談会 ※電話等による開催
	4日～8日	新型コロナワクチン職域接種実施(2回目)
	8日	宮古地区保護者懇談会 ※電話等による開催
	9日	八重山地区保護者懇談会 ※電話等による開催
	14日	北部地区保護者懇談会 ※電話等による開催
	15日	2021年度第1回売場の科学「売場がマーケティングする！」
	17日	子どもの貧困ソーシャルワーク研修「事例検討」
	17日	冠奨学金授与式 ※分散方式による開催
	17日	2021年度9月沖縄大学卒業式・沖縄大学大学院修了式
	18日	中南部地区保護者懇談会 ※オンライン開催
	22日	2021年度就職支援課夏期インターンシップ報告会①
	25日	第578回沖縄大学土曜教養講座「大切な人を最後に看取ること—終末期ケアを考える」
	25日	後期講義開始
10月	4日	2021年度就職支援課夏期インターンシップ報告会②
	5日	2021年度就職支援課夏期インターンシップ報告会③
	6日	2021年度第2回売場の科学「基本を忘れていませんか？」
	8日	冠奨学金授与式 ※分散方式による開催
	12日	子どもの貧困ソーシャルワーク研修「講義、事例検討」
	13日	冠奨学金授与式 ※分散方式による開催
	21日	こども文化学科卒業論文中間発表会
	22日	教育実習報告会(中等)①
	23日	大学院第2回学位論文等中間発表会
	27日	2021年度第3回売場の科学「お客様の価値を高めるとは？」
	29日	子どもの貧困ソーシャルワーク研修「事例検討」
	30日	第579回沖縄大学土曜教養講座「共生社会をめざして コロナ禍における外国人をめぐる法政策」
	31日	第62回沖大祭「テーマ：オンラインでも成長する沖大祭」 ※オンライン開催
11月	5日	教育実習報告会(初等)、教育実習報告会(中等)②
	6日	国際コミュニケーション学科卒業論文中間発表会
	10日	子どもの貧困ソーシャルワーク研修「事例検討」
	16日	子どもの貧困ソーシャルワーク研修「講義、事例検討」
	17日	2021年度第4回売場の科学「お客様を飽きさせない売り方の極意とは？」

	18日	3年次対象就活スタートガイダンス 2.0
	24日	教員採用試験合格者体験報告会
	25日	3年次対象就活スタートセミナー①「自己分析編」
	26日	外国語チャンプルーフェスタ ※中止
	27日	福祉文化学科社会福祉専攻卒業論文最終発表会
12月	2日	3年次対象就活スタートセミナー②「企業研究編」
	4日	第580回沖縄大学土曜教養講座「アフターコロナと自然災害」
	9日	3年次対象就活スタートセミナー③「履歴書・ESの書き方編」
	9日	国際コミュニケーション学科ゼミナール大会 ※オンライン開催
	10日	経法商学科ゼミナール大会 ※対面とオンラインのハイブリッド開催
	16日	3年次対象就活スタートセミナー④「面接・マナー編」
2022年		
1月	1日	沖縄大学広報 156号発行
	11日	子どもの貧困ソーシャルワーク研修「講義」
	13日	福祉文化学科健康スポーツ福祉専攻卒業論文最終発表会
	21日	子どもの貧困ソーシャルワーク研修「事例検討」
2月	2日～4日	2021年度就活必勝セミナー
	3日	国際コミュニケーション学科卒業論文最終発表会 ※オンライン開催
	8日	こども文化学科卒業論文最終発表会
	10日	相談援助実習報告会（社会福祉士） ※オンライン開催
	12日	第581回沖縄大学土曜教養講座「米軍基地と基地労働者」
	12日	大学院学位論文等最終発表会
	15日	精神保健福祉援助実習報告会（精神保健福祉士） ※オンライン開催
	17日	第14回琉球弧研究支援最終報告会
	18日	子どもの貧困ソーシャルワーク研修「講義、事例検討」
3月	1日	外部評価委員会

	11 日	2021 年度沖縄大学卒業式・沖縄大学大学院修了式 ※学科別分散方式で開催
	17 日	第 1 回学内合同企業説明会 (2023 卒対象)
	18 日	第 2 回学内合同企業説明会 (2023 卒対象)
	26 日	第 582 回沖縄大学土曜教養講座「沖縄における障がい者スポーツ振興の現在と未来」
		※中止や分散・オンライン開催等は、新型コロナウイルスの流行拡大防止によるもの

Ⅲ事業の概要（データ）

1. 志願者数・合格者数・入学手続者数

学部

※編入除く（人）

学 科	志願者数	合格者数	入学手続者数
経法商学科	584	348	239
国際コミュニケーション学科	228	142	77
福祉文化学科	215	166	119
こども文化学科	239	93	57
管理栄養学科	193	102	81
合 計	1459	851	573

大学院

（人）

専 攻	志願者数	合格者数	入学手続者数
地域経営専攻	1	0	0
沖縄東アジア・地域研究専攻	4	2	2
合 計	5	2	2

2. 入学金、授業料等の費用

（円）

学 科	初年次				2年次 3年次	4年次	4年間 合計
	入学金	授業料	その他	合計			
経法商学科	125,000	720,000	118,300	963,300	835,000	855,000	3,488,300
国際コミュニケーション学科	125,000	720,000	117,300	962,300	834,000	854,000	3,484,300
福祉文化学科	125,000	720,000	116,300	961,300	833,000	853,000	3,480,300
こども文化学科	125,000	720,000	117,300	962,300	834,000	854,000	3,484,300
管理栄養学科	125,000	720,000	316,660	1,161,660	1,032,000	1,052,000	4,277,660

大学院

（円）

専 攻	初年次納入金	2年次納入金	合計
地域経営専攻 沖縄・東アジア地域研究専攻	601,750	500,000	1,101,750

3. 学内奨学金支給実績

	奨学金種別	年額	2020年度		2021年度	
			支給人数 (人)	支給総額 (円)	支給人数 (人)	支給総額 (円)
1	学業奨学金	授業料相当額 授業料半額相当額 授業料 25%相当額 10万円	64	10,660,000	50	9,270,000
2	スポーツ奨学金	授業料相当額 授業料半額相当額 授業料 25%相当額 10万円	27	6,560,000	24	5,150,000
3	推薦入試特別奨学金	授業料半額相当額	113	40,320,000	130	46,800,000
4	児童福祉奨学金	授業料相当額	5	3,600,000	4	2,520,000
5	センター試験利用入 試奨学金	授業料半額相当額	21	7,560,000	21	7,560,000
6	スポーツ支援特別奨 学金	授業料相当額 授業料半額相当額 授業料 25%相当額	26	9,000,000	25	8,460,000
7	後援会支援文化活動 奨学金	授業料相当額 授業料半額相当額 授業料 25%相当額 10万円	0	0	0	0
8	後援会支援特別奨学 金	上限 20万円	32	2,985,000	17	2,960,000
9	後援会支援修学奨学 金	上限 20万円	29	4,960,000	13	2,500,000
10	冠奨学金(企業・個 人)	授業料半額相当額	0	0	21	7,560,000
11	冠奨学金(宮古・八 重山)	寄付金額による	6	491,000	2	385,000
12	私費留学生のための 授業料減免	授業料 80%相当額 授業料半額相当額	9	3,240,000	12	4,320,000
13	外国人学生のための 授業料減免	授業料 80%相当額 授業料半額相当額	2	603,300	1	243,300
14	私費外国人留学生授 業料減免	授業料 60%相当額 授業料 50%相当額 授業料 40%相当額	0	0	3	420,000
15	二親等(兄弟等)以内 同時在学授業料減額 制度	2人目の授業料の 25%相当額	54	6,897,075	56	7,412,100
16	教育ローン等利子負 担奨学金	上限 5万円	8	157,882	3	68,927
17	夜間主奨学金	授業料 25%相当額	廃止	廃止	廃止	廃止
18	社会人学生育児支援 奨学金	1人目は 5万円 2人目からは 3万円	0	0	0	0
19	大学院研究奨励奨学 金	授業料半額相当額	6	851,000	3	555,000
20	大学院現代沖縄研究 奨励金	50万~100万	0	0	1	500,000

合 計	402	97,885,257	386	106,684,327
-----	-----	------------	-----	-------------

4. 単位互換協力校との派遣・受入状況、留学生の受入状況

単位互換協定校との学生の派遣・受入状況（2021年度）

※期間は1年間、【 】は半年間。（派）は派遣協定のみ

※新型コロナのため、派遣受け入れともになし

提携大学（国内）	2021年度	
	派遣	受入
【北海道】旭川大学		
【北海道】札幌大学		
【茨城県】茨城キリスト教大学		
【埼玉県】東京国際大学		
【東京都】津田塾大学		
【東京都】法政大学		
【東京都】和光大学		
【神奈川県】関東学院大学		
【岐阜県】岐阜協立大学 (旧:岐阜経済大学)		
【京都府】京都精華大学		
【兵庫県】神戸親和女子大学		
【広島県】広島修道大学		
計		

提携大学（海外）	2021年度	
	派遣	受入
【韓国】聖公会大学		
【台湾】東海大学		
【中国】西安交通大学（派）		
【中国】東華大学		
【中国】上海体育学院		
【アメリカ】エドワレットコミュニティカレッジ（派）		
【オーストラリア】ボント大学（派）		
【オーストラリア】ニューイングランド大学（派）		
【オーストラリア】シドニー工科大学 ※2018年度まで		
【ベトナム】ホーチン市師範大学		
【カナダ】ヨーク大学（派） ※2018年度より		
【カナダ】ジョージアンカレッジ（派）		
計		

留学生の受入状況

国 別	学部生	院 生	研 究 生	国別計
中 国	11	1	0	12
台 湾	1	0	0	1
ベトナム	1	0	0	1
イタリア	1	0	0	1
計	14	1	0	15

5. 主な資格取得状況

(人)

	現 役	既 卒	合 計
教員採用試験合格者	16	36	52
社会福祉士国家試験合格者	15	12	27
精神保健福祉士国家試験合格者	9	1	10
マイクロソフトオフィススペシャリスト（MOS）検 定試験合格者	35	—	35

ICT プロフィシエンシー検定試験合格者 (P 検)	12	—	12
障害者スポーツ指導員 (初級) 資格取得者	26	—	26
障害者スポーツ指導員 (中級) 資格取得者	7	—	7
レクリエーションインストラクター資格取得者	22	—	22
スポーツ・レクリエーション指導者資格取得者	8	—	8
共通Ⅱ&ジュニアスポーツ指導員	8	—	8
健康運動実践指導者試験受験資格	8	—	8

※P 検は、準 2 級と 3 級合格者の合計数

※上記は事務局で把握している人数であり、実際的人数はこれより多い可能性があります。

6. 就職率 (%)

学部	学科・専攻	2020 年度	2021 年度	
経法商学部	経法商学科	90.2	90.8	
人文学部	国際コミュニケーション学科	88.2	100.0	
	福祉文化学科	社会福祉専攻	97.9	84.9
		健康スポーツ福祉専攻	96.9	96.7
	こども文化学科	97.6	100.0	
計		92.9	92.7	

(※2022 年 5 月 1 日現在)

7. 卒業者数・修了者数 (人)

学部	学科	卒業者・修了者数
経法商学部	経法商学科	160
人文学部	国際コミュニケーション学科	51
	福祉文化学科	97
	こども文化学科	61
計		369
大学院	現代沖縄研究科	5

※2021 年 9 月卒業者数を含む

8. 卒業者数累計

卒業者数累計 (1960 年度～2021 年度)

25,449 人

※大学院修了者は含んでいない

IV. 財務の概要

当期の予算の執行状況や、財務の概況を報告いたします。なお、金額は千円未満は切り捨てとしています。

なお、差異は学校法人会計基準に基づき、予算の額から決算の額を差し引いた金額になります。

(1) 資金収支計算書

資金収支計算書について、その主な内容をご報告いたします。

資金収支計算書は、本法人の1年間の活動状況を表したものです。この活動をお金の動きで表し、年度末における支払資金(現金及びいつでも引き出すことができる預貯金)がいくらあるかを表したものです。

資金収入には、授業料等の学費や、入学検定料、寄付金、補助金等の収入や負債となる前受金などの収入のほかすべての資金収入を計上します。

資金支出には、教職員に支払う給与、消耗品や水道光熱費等の諸経費、土地、建物、図書、機器備品の購入費等のすべての支出を計上します。

また、資金収入調整勘定とは、収入として計上しているが未収になっているもの、前受金収入として前年度まで既に受け入れている本年度の学納金などを調整するための科目です。

(単位 千円)

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	1,972,000	1,918,519	53,481
手数料収入	35,315	33,309	2,006
寄付金収入	33,600	27,993	5,607
補助金収入	573,507	565,986	7,521
資産売却収入	85,000	623	84,377
付随事業・収益事業収入	38,829	44,508	△5,679
受取利息・配当金収入	1,727	1,667	60
雑収入	76,363	70,667	5,696
前受金収入	841,051	966,302	△125,251
その他の収入	59,058	68,427	△9,369
資金収入調整勘定	△999,707	△957,474	△42,233
前年度繰越支払資金	2,063,052	2,362,621	
収入の部合計	4,779,795	5,103,148	△323,353

在籍者数が見込みを下回ったため、予算比53,481千円減となりました。

新川校地の売却(予算85,000千円)が2022年度へ持ち越しとなったため、決算値が低い数値となりました。

入学者数が予想を上回ったため、予算比125,251千円の増となりました。

(単位 千円)

支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	1,434,679	1,409,217	25,462
教育研究経費支出	914,335	866,936	47,399
管理経費支出	106,467	94,755	11,712
借入金等利息支出	9,495	9,925	△430
借入金等返済支出	71,600	71,600	0
施設関係支出	156,202	110,229	45,973
設備関係支出	128,796	54,917	73,879
資産運用支出	31,000	40,401	△9,401
その他の支出	63,736	78,449	△14,713
	(21,181)		
予備費	8,819		8,819
資金支出調整勘定	△111,523	△70,586	△40,937
翌年度繰越支払資金	1,966,190	2,437,306	△471,116
支出の部合計	4,779,795	5,103,148	△323,353

昨年度と比べて、コロナ禍による教育研究活動は復調してきたものの、本格的な活性化には至らず、教育研究経費の支出が低く抑えられる結果となりました。

アネックス共創館3階整備を、当初の教室整備からサークル室整備へ変更したため、教室整備用機器の支出が行われませんでした。

匿名の方からの寄附金5,000千円を頂き、予算を上回る結果となりました。

(2) 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書について、その主な内容をご報告いたします。

事業活動収支計算書は事業活動収入及び事業活動支出の内容とその均衡を明らかにする目的で作成します。収支を経常的な収支、臨時的な収支(特定収支)に分け、経常的な収支は更に教育活動収支と教育外活動収支に分けて把握することができるようにしています。

資金収支計算書にはなく事業活動収支計算書に表れる科目としては、減価償却額や退職給与引当金などがあります。

企業会計でいえば損益計算書に相当しますが、学校会計では営利目的ではなく、あくまでも収支均衡が目的となります。

【教育活動収支】

(単位 千円)

教育活動収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	1,972,000	1,918,519	53,481
手数料	35,315	33,309	2,006
寄付金	33,600	27,993	5,607
経常費補助金	573,507	565,986	7,521
付随事業収入	38,829	44,508	△5,679
雑収入	76,363	70,662	5,701
教育活動収入計	2,729,614	2,660,977	68,637
教育活動支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費	1,432,137	1,407,453	24,684
教育研究経費	1,121,787	1,082,793	38,994
管理経費	110,999	104,063	6,936
徴収不能額等	0	0	0
教育活動支出計	2,664,922	2,594,309	70,613
教育活動収支差額	64,692	66,668	△1,976

学校法人の本業である教育活動による収支を表します。

在籍者数が見込みを下回ったため、予算比53,481千円減となりました。

新型コロナワクチン職域接種の負担金7,258千円の交付により、予算を上回る結果となりました。

新学部完成(4年生まで在籍する)を待つ間、教育活動収支差額はマイナスとなっております。本学の健康栄養学部の完成は2022年ですが、2021年からは教育活動収支差額はプラスに転じております。

【教育活動外収支】

(単位 千円)

事業活動収入の部			
科目	予算	決算	差異
受取利息・配当金	1,727	1,667	60
教育活動外収入計	1,727	1,667	60
事業活動支出の部			
科目	予算	決算	差異
借入金等利息	9,495	9,925	△430
教育活動外支出計	9,495	9,925	△430
教育活動外収支差額	△7,768	△8,258	490

教育外活動収支は教育活動以外の財務活動(資金調達及び資産運用に係る活動)及び収益事業に係る活動による収支を表します。

【特別収支】

(単位 千円)

事業活動収入の部			
科目	予算	決算	差異
資産売却差額	0	0	0
その他の特別収入	0	1,790	△1,790
特別収入計	0	1,790	△1,790
事業活動支出の部			
科目	予算	決算	差異
資産処分差額	47,364	14,797	32,567
その他の特別支出	0	29	△29
特別支出計	47,364	14,827	32,537
特別収支差額	△47,364	△13,037	△34,327

特別収支は臨時的な収支を表すものです。施設設備補助金、現物寄付、過年度修正等の科目があります。

その他の収入は、現物寄付によるものです。

新川校地の売却による資産処分差額を計上していましたが、売却が2022年度に持ち越しとなったため、決算が低い数値となりました。

予備費	(7,259) 22,741		
基本金組入前当年度収支差額	△ 13,181	45,373	△58,554
基本金組入額合計	△ 67,936	△188,185	120,250
当年度収支差額	△ 81,117	△142,812	61,695
前年度繰越収支差額	△ 1,669,758	△1,458,809	△210,949
翌年度繰越収支差額	△ 1,750,875	△1,601,621	△149,253

(3)貸借対照表

貸借対照表について、前年度末からの増減の主な理由をご報告いたします。

貸借対照表は、年度末(2021年3月31日現在)における本法人の財政状況を明らかにするため、法人の保有する資産、負債、基本金及び翌年度繰越消費収支差額を一覧表示したものです。

資産の部

(単位:千円)

科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	5,782,285	5,820,425	△38,140
有形固定資産	5,131,821	5,197,054	△65,233
特定資産	561,499	524,955	36,544
その他の固定資産	88,965	98,415	△9,450
流動資産	2,501,393	2,429,560	71,833
資産合計	8,283,678	8,249,984	33,694

現預金等の流動資産は、71,833千円の増加となりました。

負債の部、基本金の部、消費収支差額の部

科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	1,126,059	1,209,454	△83,395
流動負債	1,177,224	1,105,509	71,716
負債合計	2,303,283	2,314,963	△11,679
基本金	7,582,016	7,393,831	188,185
繰越収支差額	△1,601,621	△1,458,809	△142,812
純資産合計	5,980,394	5,935,022	45,373
負債及び純資産の部合計	8,283,678	8,249,984	33,694

借入金は毎年順調に返済しており、固定負債は83,395千円の減となりました。

土地、建物に関する支出及び借入金返済、機器備品のリース支払い分が主な組入となります。

基本金について

学校法人は、設置する学校の教育研究やその他の諸活動を行うために校地、校舎、機器備品、図書等の資産を保有しています。そして、それら保有資産のうち教育研究に必要な資産は、教育水準の維持向上と円滑な法人運営を図る観点から常に維持しなければならないことになっています。法人が存続する限り、それらの資産を保有することとなりますが、事業計画の変更・見直し等により基本金の取り崩しが可能になっています。このように、必要な資産の維持状況を表したものが基本金です。

注記

1.重要な会計方針

(1)引当金の計上基準

徴収不能引当金

未収入金の徴収不能及び貸付金の回収不能に備えるため、個別に見積もった徴収不能見込額を計上している。

退職給与引当金

退職金の支給に備えるため、期末要支給額512,840,237円を基にして、私立大学退職金財団に対する掛金の累積額と交付金の累積額との繰入れ調整額を加減した金額の100%を計上している。

(2)その他の重要な会計方針

有価証券の評価基準及び評価方法

移動平均法に基づく原価法である。

預り金その他経過項目に係る収支の表示方法

預り金その他経過項目に係る収入と支出は相殺して表示している。

2.重要な会計方針の変更等

該当なし

3.減価償却額の累計額の合計額 2,399,822,666 円

4.徴収不能引当金の合計額 0 円

5.担保に供されている資産の種類及び額

担保に供されている資産の種類及び額は、次のとおりである。

土地 1,740,485,577 円

建物 1,753,652,703 円

6.翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額

372,680,767 円

7.当該会計年度の末日において第4号基本金に相当する資金を有していない場合のその旨と対策

第4号基本金に相当する資金を有しており、該当しない。

8.その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

(1)有価証券の時価情報

①総括表

(単位 円)

	当年度(2022年3月31日)		
	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	0	0	0
(うち満期保有目的の債券)	0	0	0
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	53,829,636	35,842,400	△ 17,987,236
(うち満期保有目的の債券)	0	0	0
合計	53,829,636	35,842,400	△ 17,987,236
(うち満期保有目的の債券)	0	0	0
時価のない有価証券	0		
有価証券合計	53,829,636		

②明細表

種類	当年度(2022年3月31日)		
	貸借対照表計上額	時価	差額
債券	0	0	0
株式	53,829,636	35,842,400	△ 17,987,236
投資信託	0	0	0
貸付信託	0	0	0
その他	0	0	0
合計	53,829,636	0	0
時価のない有価証券	0		
有価証券合計	53,829,636		

(2)関連当事者との取引

該当なし

(4) 経年比較表

① 資金収支計算書

(単位:千円)

資金収支計算書			
科目	2019年度	2020年度	2021年度
学生生徒納付金収入	1,674,777	1,853,568	1,918,519
手数料収入	35,308	29,831	33,309
寄付金収入	25,562	33,403	27,993
補助金収入	287,122	500,831	565,986
資産売却収入	95,203	191	623
付随事業・収益事業収入	47,586	40,523	44,508
受取利息・配当金収入	2,683	2,689	1,667
雑収入	20,017	75,262	70,667
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	980,637	939,497	966,302
その他の収入	81,558	17,359	68,427
資金収入調整勘定	△ 904,432	△ 1,032,861	△ 957,474
前年度繰越支払資金	2,463,540	2,513,431	2,362,621
収入の部合計	4,809,564	4,973,725	5,103,148
人件費支出	1,260,237	1,387,658	1,409,217
教育研究経費支出	528,865	896,164	866,936
管理経費支出	99,018	84,097	94,755
借入金等利息支出	11,202	10,605	9,925
借入金等返済支出	52,850	52,850	71,600
施設関係支出	202,155	58,032	110,229
設備関係支出	33,402	30,602	54,917
資産運用支出	67,648	34,479	40,401
その他の支出	83,894	76,452	78,449
資金支出調整勘定	△ 43,142	△ 85,693	△ 70,586
翌年度繰越支払資金	2,513,431	2,362,621	2,437,306
支出の部合計	4,809,564	4,973,725	5,103,148

②事業活動収支計算書

【教育活動収支】

(単位:千円)

科目	2019年度	2020年度	2021年度
事業活動収入の部			
学生生徒等納付金	1,674,777	1,853,568	1,918,519
手数料	35,308	29,831	33,309
寄付金	25,596	33,403	27,993
経常費補助金	283,479	500,831	565,986
付随事業収入	47,586	40,523	44,508
雑収入	20,015	75,262	70,662
教育活動収入計	2,086,763	2,533,419	2,660,977
事業活動支出の部			
人件費	1,266,133	1,385,498	1,407,453
教育研究経費	767,964	1,107,700	1,082,793
管理経費	104,965	93,803	104,063
徴収不能額等	414	0	0
教育活動支出計	2,139,478	2,587,001	2,594,309
教育活動収支差額	△ 52,715	△ 53,583	66,668

【教育活動外収支】

(単位:千円)

科目	2019年度	2020年度	2021年度
事業活動収入の部			
受取利息・配当金	2,683	2,689	1,667
教育活動外収入計	2,683	2,689	1,667
事業活動支出の部			
借入金等利息	11,202	10,605	9,925
教育活動外支出計	11,202	10,605	9,925
教育活動外収支差額	△ 8,512	△ 7,916	△ 8,258

【特別収支】

(単位:千円)

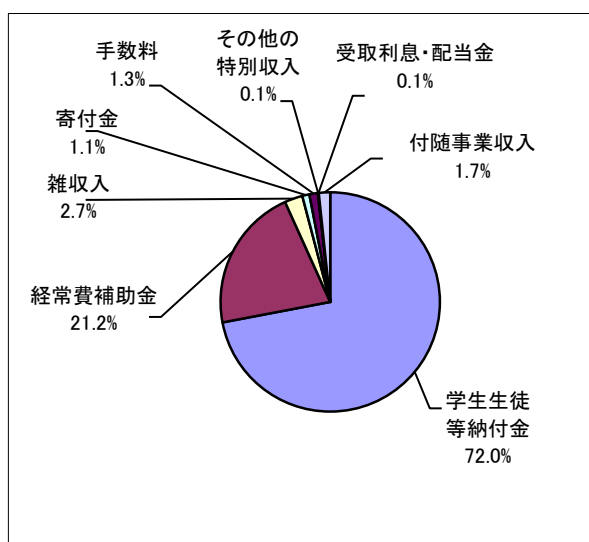
科目	2019年度	2020年度	2021年度
事業活動収入の部			
資産売却差額	11	3	0
その他の特別収入	8,758	4,584	1,790
特別収入計	8,770	4,587	1,790
事業活動支出の部			
資産処分差額	57,006	8,968	14,797
その他の特別支出	426	0	29
特別支出計	57,432	8,968	14,827
特別収支差額	△ 48,662	△ 4,380	△ 13,037

科目	2019年度	2020年度	2021年度
基本金組入前当年度収支差額	△ 109,896	△ 65,879	45,373
基本金組入額合計	△ 126,779	△ 176,548	△ 188,185
当年度収支差差額	△ 236,676	△ 242,427	△ 142,812
前年度繰越収支差額	△ 979,705	△ 1,216,382	△ 1,458,809
基本金取崩額	0	0	0
翌年度繰越収支差額	△ 1,216,382	△ 1,458,809	△ 1,601,621

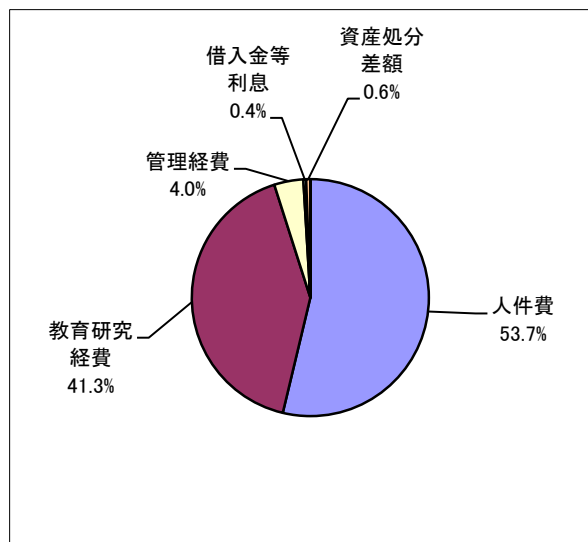
(参考)

事業活動収入計	2,098,217	2,540,695	2,664,433
事業活動支出計	2,208,114	2,606,574	2,619,060
経常収入	2,089,447	2,536,108	2,662,643
経常支出	2,150,681	2,597,606	2,604,234

事業活動収入構成比率(総額:2,662,653千円)



事業活動支出構成比率(総額:2,606,992千円)



③貸借対照表

貸借対照表			
科目	2019年度	2020年度	2021年度
固定資産	(5,860,104)	(5,820,425)	(5,782,285)
有形固定資産	5,294,864	5,197,054	5,131,821
特定資産	495,965	524,955	561,499
その他の固定資産	69,274	98,415	88,965
流動資産	(2,528,231)	(2,429,560)	(2,501,393)
現金預金	2,513,431	2,362,621	2,437,306
その他の流動資産	14,800	66,939	64,087
資産の部合計	8,388,336	8,249,984	8,283,678
固定負債	(1,271,996)	(1,209,454)	(1,126,059)
流動負債	(1,115,439)	(1,105,509)	(1,177,224)
前受金	980,637	947,997	1,008,802
その他の流動負債	134,802	157,512	168,422
負債の部合計	2,387,435	2,314,963	2,303,283
基本金	(7,217,282)	(7,393,831)	(7,582,016)
第1号基本金	6,885,282	7,061,831	7,191,016
第2号基本金	200,000	200,000	200,000
第4号基本金	132,000	132,000	191,000
繰越収支差額	(△1,216,382)	(△1,458,809)	(△1,601,621)
純資産の部合計	6,000,900	5,935,022	5,980,394
負債及び純資産の部合計	8,388,336	8,249,984	8,283,678

(5) 主要な財務比較

事業活動収支計算書				貸借対照表			
指標	2019年度	2020年度	2021年度	指標	2019年度	2020年度	2021年度
人件費比率 人件費÷経常収入	60.6	54.6	52.9	固定資産構成比率 固定資産÷総資産	69.9	70.6	69.8
人件費依存率 人件費÷学生生徒等納付金	75.6	74.7	73.4	有形固定資産構成比率 有形固定資産÷総資産	63.1	63.0	62.0
教育研究費比率 教育経費÷経常収入	36.8	43.7	40.7	特定資産構成比率 特定資産÷総資産	5.9	6.4	6.8
管理経費比率 管理経費÷経常収入	5.0	3.7	3.9	固定負債構成比率 固定負債÷ (負債+純資産)	15.2	14.7	13.6
借入金等利息比率 借入金利息÷経常収入	0.5	0.4	0.4	流動負債比率 流動負債÷ (負債+純資産)	13.3	13.4	14.2
事業活動収支差額比率 基本金組入前当年度収支差額 ÷事業活動収入	△ 5.2	△ 2.6	1.7	純資産構成比率 純資産÷ (負債+純資産)	71.5	71.9	72.2
基本金組入後収支比率 事業活動支出÷(事業活動収入-基本金組入額合計)	112.0	110.3	105.8	繰越収支差額比率 繰越収支差額÷ (負債+純資産)	△ 14.5	△ 17.7	△ 19.3
学生生徒納付金比率 学生生徒等納付金÷経常収入	80.2	73.1	72.1	固定比率 固定資産÷純資産	97.7	98.1	96.7
寄付金比率 寄付金÷事業活動収入	2.2	1.3	1.1	固定長期適合率 固定資産÷(固定負債+純資産)	80.6	81.5	81.4
経常寄付金比率 (教育活動収支の寄付金)÷ 経常収入	1.2	1.3	1.1	流動比率 流動資産÷流動負債	226.7	219.8	212.5
補助金比率 補助金÷事業活動収入	13.7	19.7	21.2	総負債比率 総負債÷総資産	28.5	28.1	27.8
経常補助金比率 (教育活動収支の補助金)÷ 経常収入	13.6	19.7	21.3	前受金保有率 現金預金÷前受金	256.3	249.2	241.6
基本金組入率 基本金組入額÷事業活動収入	6.0	6.9	7.1	減価償却比率 減価償却累計額÷ 減価償却資産取得価額	43.3	46.9	48.7
減価償却額比率 減価償却額÷経常支出	11.4	8.5	8.6	積立率 運用資産÷要積立額	111.5	99.6	99.7
経常収支差額比率 経常収支差額÷経常収入	△ 2.9	△ 2.4	2.2	運用資産＝現金預金＋特定資産＋有価証券 要積立額＝減価償却累計額＋退職給与引当金＋ 2号基本金＋3号基本金			
教育活動収支差額比率 教育活動収支差額÷ 教育活動収入計	△ 2.5	△ 2.1	2.5				

経常収入＝教育活動収入計＋教育活動外収入計
 経常支出＝教育活動支出計＋教育活動外支出計

(6) 事業活動収支関連グラフ

